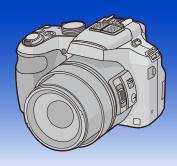
Panasonic®

取扱説明書 詳細操作編

デジタルカメラ

品番 DMC-FZ200

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（取扱説明書　基本操作編）を必ずお読みください。**

困ったときは？

メッセージ表示：178 ページ
Q&A 故障かな？と思ったら：181ページ

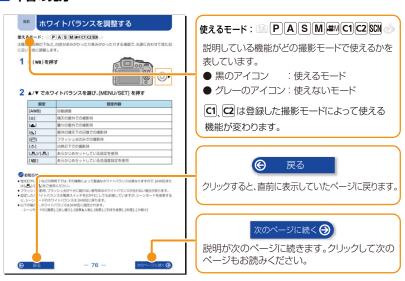
最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/dsc/

VQT4J58
F0712TU0

知りたいことの探し方

取扱説明書 詳細操作編では、知りたいことを以下のページから探すことができます。
参照ページをクリックすると、該当ページへ移動するので、知りたいことを素早く探せます。

■ 本書の見方

- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
- お使いの Adobe Reader のバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

目次

撮影

再生・編集

他の機器との接続

その他・Q&A

「取扱説明書 詳細操作編」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/dsc/

目的別かんたん目次

撮影について

■ 撮影について（続き）

■ 動画撮影について

■ 設定について

■ 再生について

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  - ・本機を落とす、またはぶつける
  - ・レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける
- **持ち運ぶときや再生するときは、レンズを収納した状態でお使いください。**
- **本機から「カタカタ」と音がしたり、手に振動が伝わったりすることがありますが、絞り動作やレンズが移動する音、または内部のモーターの動作による振動であり故障ではありません。**

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  - ・砂やほこりの多いところ
  - ・雨の日や浜辺など水がかかるところ

■ 露付きについて(レンズやファインダーが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。
個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P190)

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は2012年7月現在のものです。変更されることがあります。

CD-ROM
- ソフトウェア
- 取扱説明書 詳細操作編（本書）
（パソコンにインストールしてお使いください）

レンズフード
VYQ7878

バッテリーチャージャー※
DE-A79A
（本文中では**チャージャー**と表記します）

レンズキャップ
レンズキャップひも
VYQ5607

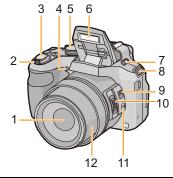
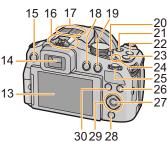
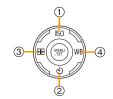
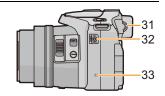
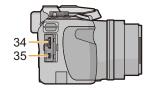
バッテリーパック
DMW-BLC12
（本文中では**バッテリー**と表記します）
- 充電してからお使いください。

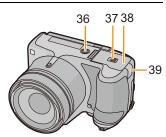
USB接続ケーブル
K1HY08YY0025

ショルダーストラップ
VFC4453

※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー（DMW-BTC6）をお買い求めください。
- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については169ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

各部の名前と働き

1 レンズ部(P10、191)
2 ズームレバー(P63)
3 シャッターボタン(P30、33)
4 セルフタイマーランプ(P73)/ AF補助光(P122)
5 モードダイヤル(P29)
6 フラッシュ発光部(P66)
7 フラッシュOPEN(オープン)レバー(P66)
8 ショルダーストラップ取り付け部(P18)
9 フォーカス切換スイッチ(P82、83)
10 サイドレバー(P63、83)
11 [FOCUS(フォーカス)]ボタン(P33、81、84)
12 レンズ鏡筒

13 液晶モニター(P61、176)
14 ファインダー(P16、176)
15 [EVF/LCD]ボタン(P16)
16 ホットシュー(P172、173)
17 ステレオ MIC(マイク)
18 [▶](再生)ボタン(P41)
19 [AF/AE LOCK(ロック)]ボタン(P85)/ [Fn2(ファンクション)] ボタン(P87)
20 電源スイッチ(P27)
21 動画ボタン(P38)
22 [連写アイコン](連写)ボタン(P71)
23 [Fn1(ファンクション)] ボタン(P87)
24 電源ランプ(P27)
25 後ダイヤル(P17)
26 [DISP.(ディスプレイ)]ボタン(P61)
27 [MENU/SET(メニュー セット)]ボタン(P17、46)
28 [Q.MENU(クイックメニュー)]ボタン(P48)/ [削除/戻るアイコン](消去 / 戻る)ボタン(P45)
29 カーソルボタン(P17)
①: ▲(上)/ISO(P74)
②: ▼(下)/ セルフタイマー(P73)
③:◀(左)/ オートフォーカスモード(P79)
④:▶(右)/WB(ホワイトバランス)(P76)
30 [Fn3(ファンクション)] ボタン(P87)

31 視度調整ダイヤル(P16)
32 [MIC/REMOTE] 端子(P173)
33 スピーカー(P52)
- スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

34 [HDMI] 端子(P154)
35 [AV OUT/DIGITAL] 端子
(P154、160、164、165)

36 三脚取り付け部(P194)
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

37 開閉レバー(P23)
38 カード / バッテリー扉(P23)
39 DC カプラー扉(P174)
- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC8)とDCカプラー(別売:DMW-DCC8)を使用してください。

液晶モニター

お買い上げ時、液晶モニターは収納状態になっています。
液晶モニターを下図のようにして液晶面を表にします。

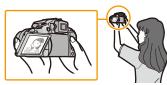
❶ 液晶モニターをつまんで開く（最大180°開きます）
❷ レンズ方向に180°回転させる
❸ 元の位置へ閉じる

- **液晶モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。**

液晶モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

- AF補助光ランプを指などで塞がないでください。

■ ハイアングル撮影

- 前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。

- 手前に90°まで回転します。

■ ローアングル撮影

- 低い位置にある花を撮影するときなどに便利です。

- レンズ方向に180°まで回転します。

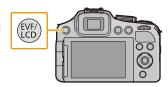
お知らせ

- **液晶モニターを十分開いていない状態で、液晶モニターを回転させると本機に傷がつくおそれがありますのでお気をつけください。**
- 液晶モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のため液晶モニターを内側に収納しておくことをお勧めします。
- 動画撮影中に液晶モニターを回転させると、動作音が記録されるおそれがありますので、お気をつけください。

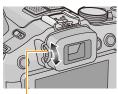
ファインダー

■ 液晶モニターとファインダーを切り換える

[EVF/LCD] を押す

- LCD(液晶モニター)表示とEVF(ファインダー)表示を切り換えることができます。
- [EVF/LCD]による切り換えはデジタルカメラの電源を[OFF]にしても保持されます。

■ 視度調整について

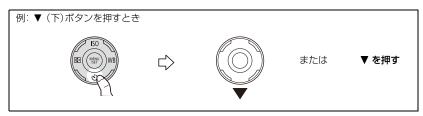
使う前に視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるように調整できます。

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整する

カーソルボタン/[MENU/SET] ボタン

カーソルボタン：　項目の選択や、数値の設定などを行います。

[MENU/SET] ボタン：　設定内容の決定などを行います。

● 本書では、カーソルボタンを下図のように、または、▲/▼/◀/▶ で説明しています。

例：▼（下）ボタンを押すとき

後ダイヤル

後ダイヤルは左右方向に回す操作と押して決定する操作との 2 とおりあります。

回す：　各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。

押す：　各種設定時には、設定内容の決定など、[MENU/SET] ボタンと同じ操作を行います。

● 本書では後ダイヤルの操作を次のように説明しています。

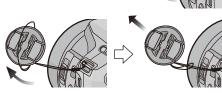
例：左右に回すとき	例：後ダイヤルを押すとき

レンズキャップ･ショルダーストラップを付ける

■ レンズキャップを付ける

● 電源スイッチを[OFF]にしているときや持ち運びするときは、レンズ面の保護のため、レンズキャップを取り付けてください。

1 カメラにレンズキャップひもを通す

2 レンズキャップにひもを通す

3 レンズキャップを付ける

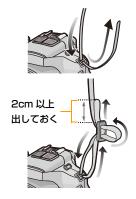
● 本機をぶら下げたり、振り回したりしないでください。
● 電源[ON]時は、必ずレンズキャップを外してください。
● **レンズキャップの紛失にお気をつけください。**
● レンズキャップひもがショルダーストラップなどとからまないようにお気をつけください。

■ ショルダーストラップを付ける

● **落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。**

1 ショルダーストラップ取り付け部に通す

2 留め具に通して留める

● ねじれないようにもう片方にも付けてください。

レンズフードを付ける

日差しの強い中、逆光時のゴーストやフレアを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮れます。

- 電源スイッチが [OFF] になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

1 レンズフードの短い方を本機底部に合わせて挿入する

- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。

2 レンズフードを矢印の方向に回す

3 いったんマークの手前で止まりますが、マークが合う位置まで回す（“カチッ”と音がして止まります）

- 確実にレンズフードが付いていることを確認して、画像にレンズフードが映っていないことを確認してください。

お知らせ

- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗く（ケラレ）なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。
- レンズフードを一時的に外して運ぶ場合は、向きを逆にして取り付けてください。
  撮影時は元の向きに付け直してください。

バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2012 年7月現在)

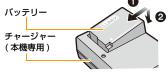
本機で使えるバッテリーは DMW-BLC12です。

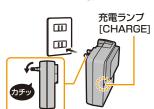
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。
- 充電は周囲の温度が10 ℃～30 ℃(バッテリーの温度も同様)のところで行うことをお勧めします。

1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

2 電源コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。

■ 充電ランプの表示について

点灯： **充電中**

消灯： **充電完了（充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください）**

● **点滅するときは**
・バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをお勧めします。
・チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

■ 充電時間について

充電時間	約140分

● **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

■ バッテリー残量表示について

残量表示が画面に表示されます。

● バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。（電源ランプも点滅します）バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

お知らせ

● **電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**
● 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
● バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
● チャージャーは海外でも一時的に使うことができます。(P175)

使用時間と撮影枚数の目安

■ 写真記録（液晶モニター使用時）

記録可能枚数	約540 枚	条件はCIPA規格でプログラムAEモード時
撮影使用時間	約270分	

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%RH、液晶モニターを点灯
- 当社製のSDメモリーカード（32 MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正［ON］設定時）
- **30秒間隔で１回撮影**、フラッシュを２回に１回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。［例えば2分に１回撮影した場合は、上記（30秒に１回撮影）の枚数の約1/4 になります］

■ 動画撮影（液晶モニター使用時）

	AVCHD（画質設定を [PSH] で撮影）	MP4（画質設定を [FHD] で撮影）
撮影可能時間	約160分	約200分
実撮影可能時間	約80分	約100分

- 温度23 ℃/湿度50%RHの環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源の [ON]/[OFF] 切り換え、撮影の開始 / 終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- ［MP4］で１つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは４ GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。（［MP4］の［FHD］では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります）

■ 再生（液晶モニター使用時）

再生使用時間	約440分

お知らせ

- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間は少なくなり、撮影枚数は減少します。
  ・スキー場などの低温下
  ・［液晶モード］使用時
  ・［ライブビューモード］の［通常］使用時
  ・フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返したとき
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

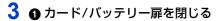
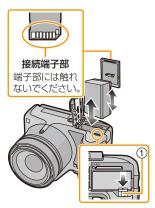
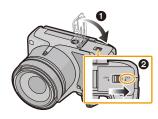
バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源スイッチを[OFF]にして、レンズ鏡筒が収納されていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをお勧めします。

1 **開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く**

2 **バッテリー:**
向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

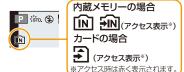
カード:
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

3
❶ カード/バッテリー扉を閉じる

❷ 開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

お知らせ

- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、電源ランプが完全に消え、レンズ鏡筒が収納されてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)
- バッテリーの代わりにACアダプター(別売:DMW-AC8)を使用する場合は、174 ページをお読みください。

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。

カードを挿入していない場合	内蔵メモリーで画像の記録・再生を行います。
カードを挿入している場合	カードで画像の記録・再生を行います。

内蔵メモリー

- **記録した画像はカードにコピーすることができます。**(P153)
- **容量:約70MB**
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

	備考
SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/ miniSDカード※1/microSDカード※1	● **動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class4」以上のカードを使用してください。** ● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。 ● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。 ● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 **http://panasonic.jp/support/sd_w/** ● 本機はUHS-I規格のSDHC/SDXCメモリーカードに対応しています。 ● 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/ microSDHCカード※1	
SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)	

※1　本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。
※2　SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

(例)

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

お知らせ

- **アクセス中（画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など）は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター（別売）を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。**
  振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P60)

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数・時間の表示について

記録可能枚数　記録可能時間

- 記録可能枚数と時間との切り換えは、セットアップメニューの[残量表示切換](P55)で行えます。
- 記録可能枚数・時間は目安です。
（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

■ 記録可能枚数（写真：枚）

- 残り枚数が 100000 枚以上の場合は、[＋99999]と表示されます。
- **画像横縦比 [4:3]、クオリティ [ ] の場合**

記録画素数	内蔵メモリー（約70 MB）	2 GB	32 GB	64 GB
12M	13	380	6260	12670
5M(EZ)	24	650	10620	21490
0.3M(EZ)	380	10050	162960	247150

■ 記録可能時間（動画撮影時）（h: 時間、m: 分、s: 秒）

- **撮影モード[AVCHD]の場合**

画質設定	内蔵メモリー（約 70 MB）	2 GB	32 GB	64 GB
PSH	—	8m00s	2h31m00s	5h07m00s
FSH	—	14m00s	4h10m00s	8h26m00s
SH	—	14m00s	4h10m00s	8h26m00s

- **撮影モード[MP4]の場合**

画質設定	内蔵メモリー（約 70 MB）	2 GB	32 GB	64 GB
FHD	—	12m02s	3h22m58s	6h50m54s
HD	—	22m59s	6h27m29s	13h04m28s
VGA	1m42s	50m36s	14h12m48s	28h46m30s

お知らせ

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- [WEBアップロード設定]を行うと、カードの記録可能枚数・時間が減少することがあります。
- [MP4]で 1 つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは 4 GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。([MP4]の[FHD]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります）
- 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。

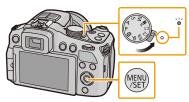
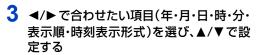
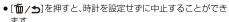
時計を設定する

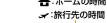
● お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする

● 電源が入ると電源ランプが点灯します。

2 [MENU/SET]を押す

3 ◀/▶で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼で設定する

● [🗑/↩]を押すと、時計を設定せずに中止することができます。

4 [MENU/SET]を押して決定する

5 [MENU/SET]を押す

時計設定を変更する

撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選び、▶を押してください。(P46)

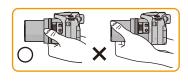
● 上記の手順3、4の操作で変更できます。
● バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れてください)

お知らせ

● 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや[日付焼き込み](P126)、[文字焼き込み](P142)を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
● 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- **フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカー、レンズ部などに指がかからないようにしてください。**
- スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。(P13)
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ポールや競技者などと衝突するおそれがある場所では周囲に十分お気をつけください。
- レンズ鏡筒をつかんで撮影しないでください。
  レンズ収納時に指を挟むおそれがあります。

■ 縦位置検出機能について([回転表示])

本機を縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。
([回転表示](P59)設定時)

- 本機を縦に構えた状態で、上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。
- 3D写真の縦撮影には対応していません。

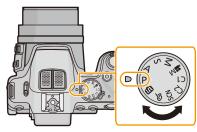
手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[ ]が表示されたときは、手ブレ補正(P121)、三脚、セルフタイマー(P73)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
  ・ 赤目軽減スローシンクロ
  ・ シーンモードの[夜景&人物]/[夜景]
  ・ [下限シャッター速度]設定でシャッタースピードを遅くしたとき

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

の部分に使用したいモードを合わせる

■ 基本

P プログラム AE モード(P30)
お好みの設定で撮影します。
iA インテリジェントオートモード(P33)
カメラにおまかせで撮影します。

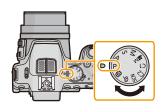
■ 応用

A 絞り優先AEモード(P88)
絞り値を決めて撮影します。
S シャッター優先 AE モード(P88)
シャッタースピードを決めて撮影します。
M マニュアル露出モード(P89)
絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
Mクリエイティブ動画モード(P105)
マニュアル操作で動画を撮影します。
C1 C2 カスタムモード(P107)
あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
SCN シーンモード(P90)
撮影シーンに合わせて撮影します。
クリエイティブコントロールモード(P99)
画像効果を確認しながら撮影します。

お好みの設定で撮る（プログラムAEモード）

撮影モード：P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを［P］に合わせる

2 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

3 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。画面の撮影可能範囲表示で確認してください。(P32)
- 適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードが赤くなります。（フラッシュ発光時を除く）

フォーカス表示

絞り値　ISO感度

シャッタースピード

4 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

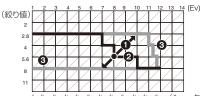
1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

2 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルを回してプログラムシフトする

プログラムシフト表示

- 数値の表示中は、後ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作(P70)が切り換わります。
- プログラムシフトされている場合は、画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルを回してください。

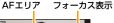
■ プログラムシフトの例

❶ プログラムシフト量
❷ プログラムシフト線図
❸ プログラムシフト限界

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- プログラムシフトが有効になってから 10秒以上経過すると、プログラムシフト設定可能な状態は解除され、通常のプログラム AE に戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。
- 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。
- ISO感度を[ISO]に設定すると、プログラムシフトできません。

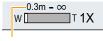
ピントの合わせ方

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

● 暗いときやズーム倍率によっては、AFエリアは大きく表示される場合があります。

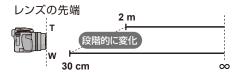
■ ピントの合う範囲について

ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。

● シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていないと撮影可能範囲表示が赤く表示されます。

撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

撮影可能範囲表示

例)プログラムAE モード時のピントの合う範囲

レンズの先端

■ ピントが合わないとき(被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど)

1 被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押しし、ピントと露出を固定する

2 シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

● 手順 **1** の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

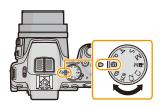
● 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
● ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
● 暗いときや手ブレしているとき
● 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード：iA

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときや初心者にお勧めです。

- 以下の機能が自動的に働きます。
  - 自動シーン判別/逆光補正/インテリジェントISO/オートホワイトバランス/顔認識/AFS/クイックAF/iDレンジコントロール/超解像/iAズーム/手ブレ補正/AF補助光/デジタル赤目補正/AF連続動作/ズームマイク
- 画質は[ ]に固定されます。

1 モードダイヤルを[iA]に合わせる

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAF エリアが表示されます。
- [FOCUS]を押すと、追尾AF※1を設定できます。詳しくは、80 ページをお読みください。
  (もう一度[FOCUS]を押すと、追尾 AF は解除されます)

※1 カラーモードを[白黒]または[セピア]に設定しているときは、追尾 AF 機能は使えません。

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

写真撮影時

iA →			
i人物	i風景	iマクロ	i夜景&人物※1
i夜景	i手持ち夜景※2	i夕焼け	i赤ちゃん※3

※1 [ ]選択時のみ
※2 [i手持ち夜景]を[ON]に設定時のみ表示されます。
※3 [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

動画撮影時

iA →			
i人物	i風景	iローライト	iマクロ

- どのシーンにも当てはまらない場合は[ ]になり、標準的な設定を行います。
- [ ]、[ ]、[ ]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**
- [ ]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大8秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[ ]、[ ]、[ ]の右上に[R] が表示されます。
- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗/被写体の大きさ・色・濃淡/被写体までの距離/被写体が動いているとき
  - ・撮影条件
    夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生したとき /ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをお勧めします。

逆光補正について

カメラが自動で画像を明るくすることにより、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。
インテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。逆光と判定された場合は画面に[ ]が表示されます。(逆光の状況によっては、正しく判定されない場合があります)

ボケ味コントロール機能を使って撮る

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 後ダイヤルを押して、[ ]を表示させる

2 ◀/▶ または後ダイヤルで調整する

または

- [/] を押すと、設定した値が初期設定(AUTO)に戻ります。
- カメラにおまかせで自動調整する場合は、設定を初期設定(AUTO)に戻してください。

3 [MENU/SET]または後ダイヤルを押して、決定する

または

設定を変更する

設定できるメニューは以下のとおりです。

メニュー	項目
撮影	[記録画素数]※/[カラーモード]/[ブレピタモード]/[i手持ち夜景]/[iHDR]/[個人認証]
動画	[撮影モード]/[画質設定]
セットアップ	[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]※/[手ブレ補正デモ] ● 上記以外の項目は表示されません。上記以外の項目は他の撮影モードで設定することができます。

● メニューの設定方法については46ページをお読みください。

※ 他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

インテリジェントオートモード独自のメニューについて

■ カラーモード

[カラーモード]は[標準]、[Happy]、[白黒]、[セピア]の色彩効果を設定できます。[Happy]選択時は、自動で色の明るさと鮮やかさが引き立った画像を撮影できます。

■ ブレピタモード

[ブレピタモード]を[ON]に設定すると、シャッターボタン半押し時に撮影画面に[ ]が表示されます。被写体の動きに応じて最適なシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。(その際、画素数が減少する場合があります)

■ i手持ち夜景

[i手持ち夜景]を[ON]に設定し、手持ち撮影で夜景を撮影中に[ ]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の画像に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない綺麗な夜景を撮影したいときに効果的です。三脚などでカメラを固定しているときは、[ ]と判別されません。

■ iHDR

[iHDR]を[ON]に設定すると、背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。

- 画面に[ ]が表示されている場合のみ、必要に応じて自動で働きます。
- 連写合成する場合は、画面に複数枚撮影のメッセージが表示され、連写撮影されます。ただし、連写合成なしで補正できるとカメラが判断したときは、連写撮影されません。
- 連写合成した場合、動いている被写体の残像が記録される場合があります。
- 以下の場合、連写合成は行われません。
  - ・ズーム倍率が24倍を超えるとき
  - ・[連写]撮影時

フラッシュについて

- **フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。**(P66)
- [iA]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[iA]、[i]、[i]、[iS]になります。
- [i]、[i]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [i]、[iS]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

インテリジェントオートプラスモードを使って撮る

インテリジェントオートモードに明るさと色合いの調整機能を加えたモードです。

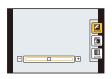
1 インテリジェントオートモード時に[MENU/SET]を押す

2 ▶で[iA+]を選び、[MENU/SET]を押す

明るさや色合い、背景のボケ具合を調整する

1 後ダイヤルを押して、調整項目を表示する

2 ▲/▼で調整する項目を選ぶ

[明るさアイコン]: 明るさを調整できます。

[ボケアイコン]: 背景のボケ具合を調整できます。

[色合いアイコン]: 色合いを調整できます。

3 ◀/▶を押す、または後ダイヤルを回して調整する

- [削除/戻る]を押すと、設定した値が初期設定(AUTO)に戻ります。

4 [MENU/SET]または後ダイヤルを押して決定する

お知らせ

- 調整した値は、電源スイッチを[OFF]にする、または他の撮影モードに変更すると、自動調整(AUTO)に戻ります。

動画を撮る

使えるモード： iA P A S M ■M C1 C2 SCN

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- フラッシュを閉じて動画撮影することをお勧めします。
- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- 撮影中、[FOCUS]を押すとピントを合わせることができます。
- [撮影モード]および[画質設定]の設定については、127ページをお読みください。

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

■ 動画記録方式について

本機はAVCHD、MP4の2種類の記録方式で動画撮影ができます。

AVCHDとは：

高精細なハイビジョン映像を記録できます。ハイビジョン対応テレビでの鑑賞や、ディスクへの保存に適した記録方式です。

AVCHD Progressiveとは：

[AVCHD]の[PSH]はAVCHD規格に準拠した最高画質※で記録できる1920×1080/60p記録モードです。
本機または PHOTOfunSTUDIO で保存や再生が可能です。
（※本機においての最高画質を意味します）

MP4とは：

単体の動画ファイルとして保存されるため、パソコンでの編集やWEBアップロードに適した記録方式です。

■ 撮影した動画の互換性について

[AVCHD] および [MP4] で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- AVCHD ProgressiveおよびMP4対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

お知らせ

- 内蔵メモリーには[MP4]の[VGA]のみ記録できます。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- クリエイティブ動画以外の動画撮影中は、ISO感度は[AUTO]の動作になります。また、[ISO感度上限設定]は機能しません。
- ズームやボタン操作、レンズキャップひもが本機にこすれるなどの動作音が記録されるおそれがありますので、お気をつけください。
- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- **動画撮影中のズームについて**
  - ・動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
  - ・動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で同じ場合でも、動画撮影開始時に画角が変わる場合があります。[動画記録枠表示](P55)を[ON]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] では、動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）の使用をお勧めします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、撮影途中の動画は記録されません。
- 以下の場合、動画撮影できません。
  - ・シーンモードの[パノラマ]/[スライド 3D 撮影]
  - ・クリエイティブコントロールモードの [ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]
- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれの撮影モードに合った動画を撮影できます。

選択されている撮影モード	動画撮影時の撮影モード
プログラムAEモード/絞り優先AEモード/シャッター優先AEモード/マニュアル露出モード / シーンモードの[スポーツ]、[逆光補正HDR]、[ペット]	通常動画
シーンモードの[赤ちゃん 1]、[赤ちゃん2]	人物モード
シーンモードの [夜景& 人物]、[夜景]、[手持ち夜景]	ローライトモード

動画撮影中に写真を記録する

動画撮影中でも写真を撮影することができます。（同時記録）

動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

お知らせ

- １回の動画撮影中に記録可能な写真枚数は最大20枚です。
- 動画撮影中にシャッターボタンを半押しして写真撮影を行うと、ピントを合わせ直すため、撮影中の動画にもピント合わせの動きが記録されます。動画の映像を優先する場合は、シャッターボタン全押しによる写真撮影、または動画撮影後に写真を作成することをお勧めします。(P44)
- シャッターボタンを半押しすると、記録画素数と記録可能枚数が表示されます。
- 写真撮影後は動画撮影が続きます。
- 電子シャッターでの撮影になるため、撮影された画像にゆがみが生じる場合があります。
- 記録画素数3.5 M（16:9）で写真を記録します。通常の写真の3.5 M（16:9）とは画質が異なる場合があります。
- **フラッシュは[ ]になります。**
- ズーム中に写真を撮影する場合、ズームが止まります。
- オートブラケットまたはホワイトバランスブラケット設定時は、1枚のみ撮影されます。
- 以下の場合、同時記録はできません。
  - ・[撮影モード]の[MP4]を[VGA]に設定時
  - ・クリエイティブ動画モード時
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、シャッターボタンを全押し時と多少ずれて記録される場合があります。
- 動画撮影中の連写速度は、以下の制限があります。(P71)
  - ・[ ]、[ ]/[ ]に設定できません。設定しても自動的に[ ]、[ ]に切り換わります。
  - ・[ ]、[ ]、[ ]、[ ]に設定できません。設定しても自動的に[ ]に切り換わります。
- クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]に設定時は、JPEG画像のみが記録されます。（[RAW]、[RAW]設定時は、クオリティは[ ]で記録されます）

写真を見る(通常再生)

[▶] を押す

■ 再生を終了する

再度 [▶] を押すか、動画ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

お知らせ

- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
- 他機で撮影された写真は本機で再生できない場合があります。

画像を送る

◀ または ▶ を押す

◀:前の画像へ　　▶:次の画像へ

- ◀/▶ を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。

複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

ズームレバーを [▦](W)側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨
カレンダー検索

- ズームレバーを[Q](T)側に回すと、1つ前に戻ります。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

選択画像番号/
トータル枚数

1/26

■ 1画面表示に戻す

▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

再生画面を拡大する（再生ズーム）

ズームレバーを［Q］（T）側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍
- 拡大したあと、ズームレバーを［▦］（W）側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置表示が表示され、▲/▼/◀/▶で拡大部分の位置を移動させることができます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。

■ 再生ズームのまま表示画像を切り換える

再生ズームのズーム倍率、ズーム位置を保持したまま表示画像を切り換えることができます。

再生ズーム中に後ダイヤルを回して画像を送る

- 以下の画像は、ズーム位置が中央に戻ります。
  - ・［画像横縦比］が異なる画像
  - ・［記録画素数］が異なる画像
  - ・回転方向が異なる画像（［回転表示］を［ON］にしている場合）

■ 合焦ポイントを拡大する（合焦ポイント表示）

本機は撮影時にピントを合わせた位置（合焦ポイント）を記録し、その位置を中心に拡大することができます。

画像再生時に、［FOCUS］を押す

- 合焦ポイントが画像の端にある場合は、中心にならないことがあります。
- もう一度［FOCUS］を押すと、元の倍率に戻ります。
- 以下の画像では合焦情報がありませんので、拡大されません。
  - ・ピントを合わせずに撮影した画像／マニュアルフォーカスで撮影した画像／他機で撮影した画像

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHD、MP4またはQuickTime Motion JPEGです。

◀/▶で動画アイコン([MP4 VGA]/[AVCHD FSH]など)が付いた画像を選び、▲を押して再生する

- 再生を開始すると、再生経過時間が表示されます。
  例)8分30秒のとき: 8m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。
- ハイスピード動画を再生する場合は、ハイスピード動画アイコン[HS]が付いた画像を選んでください。

動画アイコン

3s

動画記録時間

■ 動画再生中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶に対応しています。

▲	再生 / 一時停止
▼	停止
◀	早戻し※/コマ戻し(一時停止中)
▶	早送り※/コマ送り(一時停止中)

[W]	音量下げる
[T]	音量上げる

※ もう一度 ▶/◀ を押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

お知らせ

- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
- 他機で撮影された動画は本機で再生できない場合があります。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]で撮影された動画は、約10倍の速度で再生されます。
- ハイスピード動画再生時は表示される動画記録時間と実際の再生時間は異なります。

動画から写真を作成する

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

1 動画再生中に ▲ を押して、一時停止にする

2 [MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 以下の記録画素数で保存されます。

記録方式	記録画素数
[AVCHD]	2M(16:9)
[MP4]の[FHD]、[HD]	
[MP4]の[VGA]	0.3M(4:3)

- 他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。
- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。

画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。
- DCF規格外または[プロテクト]設定された画像は、消去できません。

[▶] を押す

1 枚消去

消去する画像を選び、[🗑/↩] を押す

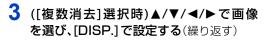
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

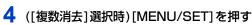
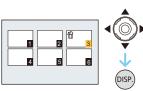
複数消去(100枚まで)/全画像消去

1 [🗑/↩] を押す

2 ▲/▼で[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET] を押す

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択するとお気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

3 ([複数消去]選択時)▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISP.]で設定する(繰り返す)

- 設定した画像に[🗑]が表示されます。
  もう一度[DISP.]を押すと設定が解除されます。

4 ([複数消去]選択時)[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

お知らせ

- 連写グループ(連写アイコン[⧉]が付いた画像)は1枚として扱われます。連写グループを消去するとグループ内すべての画像が消去されます。(P132)
- 消去中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)を使用してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

■ メニューの種類

メニュー	内容
[📷] 撮影(P113 ～)	色合いや感度、横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[🎥] 動画(P127 ～)	撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[▶] 再生モード(P134 ～)	[お気に入り]設定した画像のみの再生やスライドショー再生など、再生方法を設定できます。
[▶] 再生(P139 ～)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。
[🔧] セットアップ(P50 ～)	時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

メニューの設定方法

- セットアップメニューの[メニュー位置メモリー](P60)を[ON]に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択状態の画面になります。

例)撮影メニューで、[オートフォーカスモード]を[■](1 点)から[顔](顔認識)に設定する

1 **[MENU/SET] を押す**

2 **▲/▼ を押す、または後ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ**

- いちばん下まで移動すると、次のページに切り換わります。(ズームレバーを回しても切り換わります)

3 **▶ または後ダイヤルを押す**

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

4 ▲/▼を押す、または後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ

5 [MENU/SET]または後ダイヤルを押して決定する

■ メニューを終了する

[MENU/SET]を押す、またはシャッターボタンを半押しする

■ 他のメニューに切り換える

例）撮影メニューからセットアップメニューに切り換える

1 ◀を押す

2 ▼を押す、または後ダイヤルを回して
セットアップメニューアイコン[ ]を選ぶ

または

3 ▶または後ダイヤルを押す

● 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

または

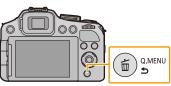
お知らせ

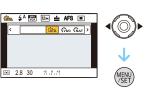
● 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

● モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

1 撮影状態で [Q.MENU] を押す

2 ◀/▶ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

3 ◀/▶ で設定内容を選び、[MENU/SET] を押して決定する

4 [Q.MENU] またはシャッターボタンを半押しして終了する

■ 後ダイヤルでクイックメニューを使う

後ダイヤルを使ってもクイックメニューを設定することができます。ファインダー使用時、撮影姿勢やアングルを保ちながらメニュー設定を行えます。

1 撮影状態で [Q.MENU] を押す

2 後ダイヤルを回して項目を選び、後ダイヤルを押す

3 後ダイヤルを回して設定内容を選び、後ダイヤルを押して決定する

- 設定後はメニューを終了してください。

セットアップメニューを使う

セットアップメニューの設定方法は P46

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

項目	設定・お知らせ
時計設定	● 詳しくは、27 ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。	**[旅行先]、[ホーム] のいずれかを選択後は、◀/▶でエリアを選び、[MENU/SET] を押して決定してください。** ● お買い上げ時はまず[ホーム]を設定してください。[旅行先]の設定は、[ホーム]設定後に行えます。 **[旅行先]**: 旅行先の地域 現地時刻 10:30 ホームとの時差 + 0:30 **[ホーム]**: お住まいの地域 現在時刻 10:00 GMT(グリニッジ標準時)との時差 GMT+ 9:00 ● サマータイム[ ](夏時間)を採用している場合は、▲を押してください。(時計が 1 時間進みます)もう一度▲を押すと元に戻ります。 ● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

セットアップメニューの設定方法は P46

項目	設定・お知らせ
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P142)で撮影画像に焼き込むことができます。	**[トラベル日付設定]**: **[設定]**: 出発日、帰着日を設定します。撮影時に旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。 **[OFF]**: ●現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。 **[旅行先]**: **[設定]**: 撮影時に旅行先が記録されます。 **[OFF]** ●文字入力の方法については、112ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。 ● トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。 ● 設定したトラベル日付は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。 ● 出発日より前は、経過日数は記録されません。 ● [AVCHD]で撮影された動画は[トラベル日付]は記録できません。 ● 動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。 ● インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードで設定した内容が反映されます。
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	**[操作音音量]**: [🔊]: 大 [🔉]: 小 [🔇]: OFF **[シャッター音音量]**: [♪🔊]: 大 [♪🔉]: 小 [♪✕]: OFF **[操作音音色]**: [❶] [❷] [❸] **[シャッター音音色]**: [♪❶] [♪❷] [♪❸]

セットアップメニューの設定方法は ☞ P46

項目	設定・お知らせ
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	● テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。また、このとき本機のスピーカーからは音声は出ません。
カスタムセット登録 現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして4つまで登録しておくことができます。	[C1]、[C2-1]、[C2-2]、[C2-3] ● 詳しくは、107ページをお読みください。
AF/AE LOCK/Fn2 [AF/AE LOCK]ボタンを、AF/AE ロックまたはファンクション機能に切り換えることができます。	[AF/AE LOCK]、[Fn2] お買い上げ時は、AF/AE ロックが設定されています。
Fnボタン設定 ファンクションボタンに一部のメニューを割り当てることができます。よく使うメニューを登録しておくと、便利にお使いいただけます。	[Fn1 ボタン設定]、[Fn2ボタン設定]、[Fn3ボタン設定] ● 詳しくは、87 ページをお読みください。
サイドレバー設定 サイドレバーの機能をズームまたはマニュアルフォーカス時のピント合わせなどに切り換えます。	[ZOOM]： サイドレバーをスライドさせて、ズーム操作ができます。(P63) [FOCUS]： マニュアルフォーカス設定時、ピント合わせの操作ができます。(P83) オートフォーカス設定時、AFロックしている間(シャッターボタン半押し、または [AF/AE LOCK] での AF ロック)にサイドレバーをスライドさせてピントを微調整することができます。 ● インテリジェントオートモード時、動画撮影時は、AFロック中のピント微調整はできません。

セットアップメニューの設定方法は P46

項目	設定･お知らせ
液晶調整 /EVF 調整 液晶モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	**[明るさ]**： 明るさを調整します。 **[コントラスト･彩度]**： 明暗差や色の鮮やかさを調整します。 **[赤み]**： 赤みを調整します。 **[青み]**： 青みを調整します。 **1** ▲/▼ で設定項目を選び、◀/▶ で調整する **2** [MENU/SET] を押して決定する ● 液晶モニター表示時は液晶モニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。 ● 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
液晶モード 屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。	**[(オートパワーLCD)]** ※： 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 **[(パワーLCD)]**： 液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 **[OFF]** ※撮影モード時のみ設定できます。 ● 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● [パワーLCD]の液晶モニターの画面は撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。 ● [液晶モード]設定 すると、使用時間は減少します。
EVF表示スタイル ファインダーの表示方法を設定します。	[ ]：ファインダースタイル [ ]：液晶モニタースタイル ● 詳しくは、61 ページをお読みください。
LCD表示スタイル 液晶モニターの表示方法を設定します。	[ ]：ファインダースタイル [ ]：液晶モニタースタイル ● 詳しくは、61 ページをお読みください。

セットアップメニューの設定方法は P46

項目	設定・お知らせ
ガイドライン表示 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。	[▦] [⊠] [⊟]：▲/▼/◀/▶で位置を設定し、[MENU/SET]を押して決定します。[DISP.] を押すと初期設定に戻ります。 [OFF] ● 被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。 ● シーンモードの [パノラマ] では、ガイドラインは表示されません。
ヒストグラム表示 ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	[ON]、[OFF] ● ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。 暗い ← 適正 → 明るい ● **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。** ・露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが“0”以外のとき ・フラッシュが発光するとき ・フラッシュを閉じているときに、適正露出にならないときや、暗いところで画面の明るさが正確に表示できないとき ● 撮影時のヒストグラムは目安です。 ● 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。 ● パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。 ● 以下の場合、ヒストグラムは表示されません。 ・インテリジェントオートモード　・マルチ再生 ・動画撮影時　・再生ズーム ・HDMI ミニケーブル接続時　・カレンダー検索

セットアップメニューの設定方法は P46

項目	設定・お知らせ
動画記録枠表示 動画撮影時の画角を確認できます。	[ON]、[OFF] ● 動画記録枠表示は目安です。 ● 記録画素数の設定によっては、T側にズームしていくと記録枠表示が消える場合があります。 ● インテリジェントオートモード時は[OFF]に固定されます。
残量表示切換 記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。	[**(残枚数)**]：写真の記録可能枚数を表示します。 [**(残時間)**]：動画の記録可能時間を表示します。
ハイライト表示 オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。撮影画像には影響されません。	[ON]、[OFF] ● 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム表示を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P70)再度撮影することをお勧めします。 ● フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。 ● マルチ再生、カレンダー検索、再生ズーム、動画再生時は働きません。 ハイライト表示 [ON]　ハイライト表示[OFF]
露出メーター 露出メーターを表示するかしないかを設定します。	[ON]、[OFF] ● [ON]に設定すると、露出補正、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に[露出メーター]が表示されます。 ● 適正でない範囲が、赤色で表示されます。 ● [露出メーター]が表示されないときは、[DISP.]を押して画面の表示情報を切り換えてください。(P61) ● 約4秒間何も操作しないと[露出メーター]が消灯します。

セットアップメニューの設定方法は ☞ P46

項目	設定・お知らせ
レンズ位置メモリー 電源スイッチを[OFF]にしたときのズーム位置やMF(マニュアルフォーカス)位置を記憶することができます。	**[ズーム位置メモリー]**: **[ON]、[OFF]** 電源スイッチを[ON]にすると、電源スイッチを[OFF]にしたときのズーム位置へ自動的に戻します。 **[MF 位置メモリー]**: **[ON]、[OFF]** マニュアルフォーカスで設定したMF位置を記憶します。もう一度マニュアルフォーカスの撮影状態になると、記憶したMF位置に自動的に戻ります。 ● 以下のときにMF位置を記憶します。 ・電源 [OFF] にしたとき ・マニュアルフォーカス以外に切り換えたとき ・再生モードに切り換えたとき ● [ズーム位置メモリー] が [OFF] の場合、ズーム位置は W 端になります。 ● [MF位置メモリー]が[OFF]の場合、MF位置はマニュアルフォーカスの撮影状態になったときにピントが合っている距離になります。 ● 撮影条件によっては、記憶したときと復帰したときのMF位置は異なる場合があります。
MF アシスト マニュアルフォーカス時に、ピントが合わせやすくなります。	**[ON]**: 画面中央部が画面全体に拡大表示されます。 **[OFF]** ● 詳しくは、84ページをお読みください。

セットアップメニューの設定方法は　P46

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>エコモード

設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。
また、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。</td><td>[スリープモード]:
[10分]、[5分]、[2分]、[1分]、[OFF]
設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。

[自動液晶OFF]:
[30秒]、[15秒]、[OFF]
設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に液晶モニターを消灯します。

[ライブビューモード]:
[通常]、[ECO]
液晶モニターの表示方法を電力消費を抑えた方法にします。

● [スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。
● インテリジェントオートモード時は、[スリープモード]は[5分]に固定されます。
● 液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。
● 以下の場合、[スリープモード]は働きません。
・ACアダプター使用時
・パソコンまたはプリンター接続時
・動画撮影 / 動画再生時
・スライドショー時
・自動デモ
● 以下の場合、[自動液晶OFF]は働きません。
・ACアダプター使用時
・パソコンまたはプリンター接続時
・インテリジェントオートモード
・セルフタイマー設定時
・動画撮影 / 動画再生時
・スライドショー時
・メニュー画面表示中
・自動デモ
● [自動液晶OFF]を[15秒]または[30秒]に設定すると[スリープモード]は[2 分]に固定されます。
● [ライブビューモード]を[ECO]に設定すると、[通常]設定時より撮影画面の画質が劣る場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
● [ライブビューモード]の[通常]設定時は、使用時間が減少します。</td></tr>
<tr><td>モニター優先

撮影モードでファインダーを選択していた場合、再生時に自動的に液晶モニターに切り換えます。</td><td>[ON]
[OFF]</td></tr>
</table>

セットアップメニューの設定方法は P46

項目	設定・お知らせ
オートレビュー 写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	[ホールド]：ボタンを押すまで表示 [2秒] [1秒] [OFF] ●以下の場合、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。 ・オートブラケット撮影時 ・連写撮影時 ●インテリジェントオートモード時は[2秒]に固定されます。 ●動画撮影では働きません。
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	●フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。 ●フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P60)することをお勧めします。 ●フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定、セットアップ設定** ●撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ●撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録したデータもリセットされます。 ●フォルダー番号、時計の設定は変わりません。 ●セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。 ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付]の設定内容（出発日、帰着日、旅行先） ・[ワールドタイム]の設定内容 ・[カスタムセット登録]の設定内容 ・[レンズ位置メモリー]/[メニュー位置メモリー]で記憶させた位置
USBモード USB接続ケーブル(付属)を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	[接続時に選択]：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。 [PictBridge(PTP)]：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 [PC]：パソコンに接続する場合に設定します。

セットアップメニューの設定方法は ☞ P46

項目	設定・お知らせ
映像出力 テレビなどとの接続のしかたを設定します。	**[TV 画面タイプ]**: テレビの種類に合わせて設定します。 [16:9]: 画面が16:9のテレビと接続時 [4:3]: 画面が4:3のテレビと接続時 ● AVケーブル(別売)接続時に働きます。
ビエラリンク 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。	[ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません) 本機のボタンでの操作は制限されます。 [OFF]: 本機のボタンでの操作になります。 ● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。 ● 詳しくは、156ページをお読みください。
3D テレビ出力 3D写真の出力方法を設定します。	[3D]: 3D対応テレビに接続する場合に設定します。 [2D]: 3D非対応のテレビに接続する場合に設定します。 3D対応テレビで2D(従来の画像)再生したい場合も、この設定にしてください。 ● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。 ● 3D写真を3Dで再生する方法については、158ページをお読みください。
回転表示 本機を縦に構えて撮影した画像を縦向きに表示させることができます。	[テレビ カメラ](ON): テレビで表示される映像と本機の液晶画面の両方で、回転して縦向きに表示します。 [テレビ](外部出力のみ): テレビで表示する場合、回転して縦向きに表示します。 [OFF] ● 画像を再生する方法については、41ページをお読みください。 ● パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです] ● 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。 ● マルチ再生時は、回転表示されません。

セットアップメニューの設定方法は　☞ P46

項目	設定・お知らせ
シーンメニュー モードダイヤルをSCNに切り換えたときに表示される画面を設定します。	[AUTO]：シーンモードの選択画面を表示 [OFF]：現在選択されているシーンモードの撮影画面を表示
メニュー位置メモリー 最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。	[ON]、[OFF]
バージョン表示	● 本体のファームウェアバージョンを確認できます。 ● バージョン表示画面で [MENU/SET] を押すと、本機のソフトウェアに関する情報を表示します。
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット（初期化）します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	● フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。 ● カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ● 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ● カードより内蔵メモリーのほうがフォーマットに時間がかかる場合があります。 ● フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。
デモモード [手ブレ補正デモ]や本機の特長を表示します。	**[手ブレ補正デモ]**: カメラが感知した手ブレ量を表示 **[自動デモ]** [ON]：本機の特長をスライドショーで表示 [OFF] ● [手ブレ補正デモ]中に[MENU/SET]を押すごとに、手ブレ補正が ON と OFF に切り換わります。 ● [手ブレ補正デモ]は目安です。 ● [自動デモ]はテレビ出力されません。 ● [自動デモ]を終了する場合は、[MENU/SET]を押してください。 手ブレ量 補正後の手ブレ量

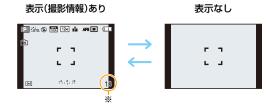
液晶モニター/ファインダーの表示を切り換える

[DISP.] を押して切り換える

- メニュー画面表示時は[DISP.]は働きません。再生ズーム時、動画再生中、スライドショー中は、表示ありと表示なしの切り換えになります。
- セットアップメニューの[LCD表示スタイル]、[EVF表示スタイル]で、液晶モニターとファインダーの表示画面をそれぞれ[ ](液晶モニタースタイル)または[ ](ファインダースタイル)から選ぶことができます。

撮影時

[ ](液晶モニタースタイル)

[ ](ファインダースタイル)

※ セットアップメニューの [残量表示切換] で記録可能枚数と記録可能時間の表示を切り換えることができます。

再生時

※１　セットアップメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。
※２　[DISP.]を押すと個人認証で登録された人物の名前が表示されます。

ズームを使って撮る

使えるモード：iA P A S M CUST 🎥M SCN

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/iAズーム/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。
最大記録画素数以外に設定するとEX光学ズームが働き、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

広く撮るには(広角)

ズームレバーをW側へ回す

大きく撮るには(望遠)

ズームレバーをT側へ回す

■ ズーム速度を変える

回す角度が小さいときはズーム速度は遅くなり、大きいときは速くなります。

■ ズーム位置を記憶する(ズーム位置メモリー)

詳しくは 56 ページをお読みください。

■ サイドレバーでズーム操作をする

ファインダーを使用しての撮影時、サイドレバーでズーム操作を行うと、本機を安定して構えることができ手ブレ軽減に効果的です。また撮影テクニックに広がりを持たすことができます。

- サイドレバーでズーム操作を行う場合は、セットアップメニューの[サイドレバー設定]を[ZOOM]に設定してください。(P52)
- ズーム速度を2段階で操作することができます。スライドさせる幅が小さいと遅くなり、大きいと速くなります。
- ズームレバーとサイドレバーは、同時に使うことはできません。

大きく撮るには(望遠)：
サイドレバーを T 側へスライドさせる

広く撮るには(広角)：
サイドレバーを W 側へスライドさせる

■ ズームの種類

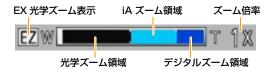
種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)
最大倍率	24倍	46.9 倍※1
画質	劣化しない	劣化しない
条件	なし	EZ付きの記録画素数(P115)を選ぶ

※1 光学ズームの倍率を含みます。また、記録画素数により変わります。

さらにズームの倍率を上げたいときは、以下のズームを併用できます。

種類	iAズーム	デジタルズーム
最大倍率	2倍	4倍※2
画質	劣化を抑えつつ拡大する	拡大するほど劣化する
条件	撮影メニューの[超解像](P120)を[iA ZOOM]に設定する	撮影メニューの[デジタルズーム](P121)を [ON]に設定する

※2 撮影メニューの[超解像] を [iA ZOOM]に設定時は 2 倍になります。

■ 画面表示

● ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例:0.3m—∞)

お知らせ

- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. Optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。光学ズームより望遠効果の高い写真が撮影できます。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P73)を使って撮影することをお勧めします。
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  - ・インテリジェントオートモードの[プレピタモード]
  - ・連写設定を[40]、[60]、[ ]に設定時
  - ・クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]
  - ・シーンモードの[パノラマ]、[逆光補正HDR]、[高感度]、[スライド3D撮影]
  - ・動画撮影時
  - ・[クオリティ]の[RAW]、[RAW]、[RAW]設定時
- 以下の場合、iAズームは使えません。
  - ・インテリジェントオートモードの[プレピタモード]
  - ・連写設定を[40]、[60]、[ ]に設定時
  - ・クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]
  - ・シーンモードの[パノラマ]、[手持ち夜景]、[逆光補正HDR]、[高感度]、[スライド3D撮影]
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・連写設定を[40]、[60]、[ ]に設定時
  - ・クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]、[ジオラマ]
  - ・シーンモードの[パノラマ]、[手持ち夜景]、[逆光補正HDR]、[高感度]、[スライド3D撮影]
  - ・クリエイティブ動画モードの[ハイスピード動画]
  - ・[クオリティ]の[RAW]、[RAW]、[RAW]設定時

フラッシュを使って撮る

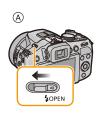
使えるモード：iA P A S M C1 C2 SCN

■ フラッシュを開く／閉じる

Ⓐ 開くとき

フラッシュOPENレバーをスライドさせる

Ⓑ 閉じるとき

フラッシュの先端付近をカチッと音がするまで押す

お知らせ

- **フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。**
- 使わないときは、フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、[⊛]に固定されます。
- フラッシュにほこりや粘着物が付着しないようにお気をつけください。フラッシュが引っかかったり開かなくなるおそれがあります。
- マイクやマイク付近を押してもフラッシュは閉じません。無理に閉じようとすると故障の原因になります。

フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

● フラッシュを開く。

1 撮影メニューから［フラッシュ］を選ぶ(P46)

2 ▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す

● 設定後はメニューを終了してください。

モード	内容
⚡A: オート i⚡A :i オート※1	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◎: 赤目軽減オート※2	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る（赤目現象）のを抑えるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
⚡: 強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
⚡S◎: 赤目軽減スローシンクロ※2	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象を抑えます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
⊘: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **メニューには表示されません。フラッシュを閉じると[⊘]に設定されます。** ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※1　インテリジェントオートモード時のみ設定できます。被写体や撮影状況に応じて、アイコンが切り換わります。(P36)

※2　**フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また、発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。**
撮影メニューの[デジタル赤目補正](P123)を[ON]に設定すると、アイコンに[ ]が表示されます。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
（○：設定可、×：設定不可、◎：シーンモード初期設定）

	⚡A	⚡A◉	⚡	⚡S◉	⊘
iA※	○※	×	×	×	○
P / A	○	○	○	○	○
S / M	○	○	○	×	○
（シーンモード：4種）	○	◎	○	×	○
（シーンモード：7種）3D	×	×	×	×	◎
（シーンモード：5種）	◎	×	○	×	○
（シーンモード：1種）	×	×	×	◎	○

※ ［i⚡A］と表示されます。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

■ フラッシュ撮影可能範囲

	W端時	T端時
ISO感度[AUTO]設定時	約30 cm～約13.5 m※1	約1.0 m～約13.5 m※1

※1　[ISO感度上限設定](P116)を[AUTO]に設定時。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/60※2～1/4000秒
⚡A◉	
⚡	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S◉	1※2～1/4000秒
⊘	

※2　ISO 感度を [AUTO] に設定時。[下限シャッター速度]の設定によって変わります。

- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- シーンモードでは、シャッタースピードが上記と異なります。

お知らせ

- フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。セットアップメニューの[ハイライト表示]を[ON]に設定すると、オートレビュー時または再生時に白飛びの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。[フラッシュ光量調整](P123)をマイナス方向に設定するなどして、再度撮影することをお勧めします。
- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 赤目軽減オートなどの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- 被写体に近すぎたりフラッシュが十分に届かない被写体を撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュが十分に届かない被写体を撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- [コンバージョン](P124)を[ ]または[ ]に設定しているときは、フラッシュは[⊘]に固定されます。

露出を補正して撮る

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 露出補正操作が有効になるまで後ダイヤルを押す

露出補正表示

2 後ダイヤルを回して露出を補正する

露出メーター表示

露出アンダー		適正露出		露出オーバー
露出をプラス方向に補正してください。				露出をマイナス方向に補正してください。

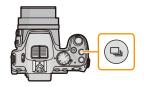
お知らせ

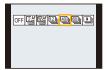
- 露出を補正しない場合は、“0”に設定してください。
- 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。

連写する

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
連写速度を撮影状況や被写体に合わせて選択できます。

1 [▢] を押す

2 ◀/▶ で連写速度を選び、[MENU/SET] を押す

- [DISP.] を押すと各連写速度に適した撮影状況の説明が表示されます。

連写速度		特徴	最大連写コマ数
[2] / [2AF]	2コマ/秒	● [2]、[5.5] 設定時、ピントは1コマ目に固定されます。 ● [2AF]、[5.5AF] 設定時、ピントは撮影ごとに調整されます。 ● 露出、ホワイトバランスは撮影ごとに調整されます。	100 コマ※1
[5.5] / [5.5AF]	5.5コマ/秒		
[12]	12コマ/秒	● ピント、露出、ホワイトバランスは1コマ目に固定されます。	12 コマ※2
[40] ※3	40コマ/秒	● ピント、露出、ホワイトバランスは1コマ目に固定されます。 ● 連写撮影された画像はひとつの連写グループとして、まとめて記録されます。 ● [60] 設定時は撮影できる範囲が狭くなります。	40 コマ
[60] ※3	60コマ/秒		60 コマ
[⚡] ※4	—	● フラッシュを発光しながら連写します。 ● ピント、露出、シャッタースピード、ISO感度、フラッシュ発光量は1コマ目の設定に固定されます。	5 コマ

※1　連写コマ数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。
※2　[クオリティ]を[RAW▪▪▪]、[RAW▪▪]、[RAW]に設定した場合は、最大連写コマ数は11コマになります。
※3　インテリジェントオートモード時は設定できません。
※4　プログラムAEモード、絞り優先AEモード、シャッター優先AEモード時のみ設定できます。

お知らせ

- [ ]、[ ]、[ ] 設定時、選択できる記録画素数は以下に制限されます。

画像横縦比	[ ]	[ ]	[ ]
[4:3]	[5M]、[3M]、[2M]、[0.3M]	[2.5M]、[0.3M]	[3M]
[3:2]	[4.5M]、[2.5M]、[0.3M]	[3M]、[0.3M]	[2.5M]
[16:9]	[3.5M]、[2M]、[0.2M]	[3.5M]、[0.2M]	[2M]
[1:1]	[3.5M]、[2.5M]、[0.2M]	[2M]、[0.2M]	[2.5M]

- [ ]、[ ]、[ ]選択時、[クオリティ]は[ ]、[ ]のみ設定できます。
- [ ]、[ ]選択時は、電子シャッターでの撮影になるため、撮影された画像にゆがみが生じる場合があります。
- セルフタイマー使用時の連写コマ数は３コマ（[ ] 設定時は５コマ）に固定されます。
- 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ/秒）が遅くなる場合があります。
- 連写設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- **フラッシュは[ ] になります。([ ] を除く)**
- 以下の場合、連写はできません。
  - ・セルフタイマーの[10秒/3枚]設定時
  - ・クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]、[ジオラマ]、[ソフトフォーカス]、[クロスフィルター]
  - ・シーンモードの[パノラマ]、[手持ち夜景]、[逆光補正HDR]、[スライド 3D 撮影]
- AFロック時は、[ ]、[ ]設定で撮影しても、撮影ごとのピントは調整されません。
- 連写撮影中、ズーム操作はできません。
- 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。
- **連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。**
- [ ]、[ ]設定時は、連写速度を優先するため、可能な範囲でのピント予測を行います。そのため、高速で動く被写体を追いながら撮影した場合、ピントが合いにくかったり、またピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- [ ]、[ ]、[ ]設定時は、被写体の明るさの変化によっては、2枚目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード：iA P A S M ␣M C1 C2 SCN

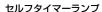
1 ▼( )を押す

2 ▲/▼で時間を選び、[MENU/SET]を押す

項目	内容
[10秒]	10秒後に撮影します。
[10秒/3枚]	10 秒後に約2秒間隔で 3 枚撮影します。
[2秒]	2秒後に撮影します。 ● 三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
[OFF]	—

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

● セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。

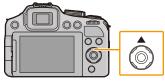
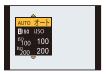
● [10 秒/3 枚]選択時は、1 枚目および2枚目撮影後にセルフタイマーランプが再度点滅し、2秒後に撮影動作を開始します。

お知らせ

● 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光として明るく点灯することがあります。
● セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。
● [10秒/3枚]設定時、撮影状況によっては撮影間隔が2秒以上になることがあります。
● 以下の場合、[10秒/3枚]に設定できません。
 ・インテリジェントオートモード
 ・オートブラケット設定時
 ・ホワイトバランスブラケット設定時
 ・連写撮影時
 ・シーンモードの[パノラマ]
● 以下の場合、セルフタイマーの設定はできません。
 ・シーンモードの[スライド 3D撮影]
 ・動画撮影時

ISO感度を設定する

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

光に対する感度（ISO感度）を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 ▲（ISO）を押す

2 ▲/▼でISO感度を選び、[MENU/SET]を押して決定する

設定	設定内容
AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ● 最大[1600]※1
iISO	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。 ● 最大[1600]※1
100/200/400/800/1600/3200/H6400※2	それぞれのISO感度に固定します。 ● 撮影メニューの[ISO感度ステップ](P117)を[1/3 EV]に設定しているときは、設定できる ISO 感度の項目が増加します。

	[100] ⟷	[6400]※2
撮影場所（お勧め）	明るいとき（屋外）	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

※1　撮影メニューの[ISO感度上限設定](P116)を[AUTO]以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定]の設定値までの範囲で自動的に設定します。

※2　[拡張ISO感度](P117)を設定時のみ

■ iISO（インテリジェントISO感度コントロール）とは

被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。

- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。

お知らせ

- [AUTO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、69ページをお読みください。
- クリエイティブコントロールモード時は、[AUTO] に固定されます。
- シーンモードの[スポーツ]/[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]/[ペット]では[iISO]に固定されます。
- シャッター優先AEモード時、[iISO] は選択できません。
- マニュアル露出モード時、[AUTO]または[iISO]は選択できません。
- クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。
  [AUTO]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]
- ISO 感度の設定によりシャッタースピードは以下のように制限されます。

ISO感度 ([ISO感度ステップ] (P117)を [1/3EV]に設定時)	シャッタースピード
AUTO/iISO	設定するISO感度によって、自動的に変わります。
100/125/160/200/250/320/400/500/640/800/1000/1250/1600	60 秒～ 1/4000 秒
2000/2500/3200	15 秒～ 1/4000 秒
H4000 ※ /H5000 ※ /H6400 ※	8 秒～ 1/4000 秒

※　[拡張ISO感度]を設定時のみ

ホワイトバランスを調整する

使えるモード： iA P A S M ■M C1 C2 SCN

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ▶（WB）を押す

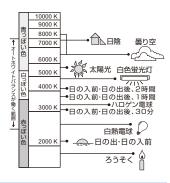
2 ▲/▼ でホワイトバランスを選び、[MENU/SET] を押す

設定	設定内容
[AWB]	自動調整
[☼]	晴天の屋外での撮影時
[☁]	曇りの屋外での撮影時
[⌂]	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[⚡WB]	フラッシュ光のみでの撮影時
[☀]	白熱灯下での撮影時
[▲1]/[▲2]	あらかじめセットしている設定を使用
[K]	あらかじめセットしている色温度設定を使用

お知らせ

- 蛍光灯やLED などの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[▲1]/[▲2]をご使用ください。
- フラッシュ撮影時、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- 設定したホワイトバランスは電源スイッチを[OFF]にしても記憶していますが、シーンモードを変更すると、シーンモードのホワイトバランスは [AWB]に戻ります。
- 以下の場合は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
  - ・シーンモードの[風景]、[流し撮り]、[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[料理]、[夕焼け]

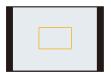
■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

1　[ ]または[ ]を選び、▶を押す

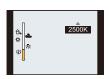
2　白い紙など白いものだけを枠内に映し、[MENU/SET]を押す

- 被写体が明るすぎたり暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適正な明るさに調整して再度設定してください。

色温度設定

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位：K（ケルビン）]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

1　[ ]を選び、▶を押す

2　▲/▼で色温度を選び、[MENU/SET]を押す

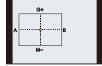
- [2500K]～[10000K]まで設定できます。

ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

1 ホワイトバランスを選び、▶ を押す

- [ ]、[ ]または[ ]を選択した場合は、もう一度 ▶ を押してください。

2 ▲/▼/◀/▶ でホワイトバランスを微調整し、[MENU/SET]を押す

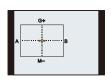
◀： A（アンバー：オレンジ系）　▲： G+（グリーン：緑系）
▶： B（ブルー：青系）　▼： M–（マゼンタ：赤系）

お知らせ

- ホワイトバランスをA（アンバー）またはB（ブルー）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG+（グリーン）またはM–（マゼンタ）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+]（グリーン）または[–]（マゼンタ）が表示されます。
- ホワイトバランスを微調整しない場合は、中心点を選んでください。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- 電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- [ ]、[ ]で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または[ ]で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準（中心点）に戻ります。

ホワイトバランスブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に3枚撮影します。

1 「ホワイトバランス微調整」の手順2で [DISP.] を押し、▲/▼/◀/▶ でブラケット設定を行う

◀/▶： 横方向（A ～B）　▲/▼： 縦方向（G+～M–）

2 [MENU/SET] を押す

お知らせ

- 設定すると、画面に[BKT]が表示されます。
- 電源スイッチを[OFF]（スリープモードを含む）にすると、ホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
- シャッター音は1回しか鳴りません。
- 動画撮影時は、ホワイトバランスブラケットは働きません。
- クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]に設定すると、ホワイトバランスブラケットは設定できません。

自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカスモード)

使えるモード：iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN ⌀

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 フォーカス切換スイッチを [AF] に合わせる

2 ◀( )を押す

3 ▲/▼ でオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] を押す

設定	設定内容
[ ](顔認識)	人の顔を自動的に検知します。(最大15個) 認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
[ ](追尾AF)※	指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。(動体追尾)
[ ](23点)※	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。(AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります)
[■](1点)	中央の AFエリア内にピントを合わせます。

※　動画撮影中は [■] になります。

お知らせ

- [個人認証] が[ON]のときは [顔認識] に固定されます。
- 以下の場合、[顔認識]に設定できません。
  - ・シーンモードの[パノラマ]、[流し撮り]、[夜景]、[手持ち夜景]、[料理]
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ソフトフォーカス]
- 以下の場合、[追尾AF]に設定できません。
  - ・シーンモードの[パノラマ]
  - ・クリエイティブコントロールモードの[セピア]、[ダイナミックモノクローム]、[ハイダイナミック]、[トイフォト]、[ソフトフォーカス]
  - ・フォトスタイルの[モノクローム]
- クリエイティブ動画モード時は、[顔認識] または [1点] のみ設定できます。
- 以下の場合、[1点] に固定されます。
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
  - ・クリエイティブ動画モードの[ハイスピード動画]

■ (顔認識)について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。

黄色：　シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：　複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

お知らせ

- [測光モード]を [中央重点] に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。
- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[多点](動画撮影時は[1点])に切り換わります。
  - ・顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラスなどで隠れている/小さく写っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・動きが速い
  - ・被写体が人物以外である
  - ・手ブレしている
  - ・デジタルズーム使用時
- カメラが誤って人物以外を顔と認識した場合は、[顔認識] 以外の設定に変更してください。

■ (追尾AF)を設定する

被写体を追尾AFエリアに合わせ、[AF/AE LOCK]を押して被写体にロックする

- 被写体を認識すると、AFエリアが黄色で表示され、被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントと露出を合わせます。(動体追尾)
- もう一度[AF/AE LOCK]を押すと、追尾AFが解除されます。

追尾AFエリア

お知らせ

- ロックに失敗したときは、追尾AF枠が赤くなったあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- 以下の場合、[ ]は[■]の動作になります。
  - ・被写体を選択していないときや見失ったとき
  - ・追尾AFに失敗したとき
- 以下の場合は、動体追尾機能が働かないことがあります。
  - ・被写体が小さすぎる
  - ・被写体の動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
  - ・被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
  - ・ズーム使用時

■ AF エリアの位置と大きさを変更する([■] 選択時のみ)

以下の操作を行うと、設定画面に切り換わります。

- [■] 設定時に [FOCUS] を押す
- メニュー画面で [■] を選び、▶ を押す

1 ▲/▼/◀/▶ で AF エリアを移動する

- 画面内の自由な位置に設定できます。(画面の端には設定できません)
- 移動中に[DISP.]を押すと、AFエリアを中央に戻すことができます。

2 後ダイヤルを回してAFエリア枠の大きさを変更する

後ダイヤル右回し: 拡大

後ダイヤル左回し: 縮小

- 4種類の大きさに変更できます。

3 [MENU/SET] を押して設定する

お知らせ

- 動画撮影中は AF エリアの移動はできません。
- [測光モード]が [•]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。
- 以下の場合、AFエリア位置は初期状態に戻ります。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
  - ・スリープモードが働いたとき
  - ・電源スイッチを[OFF]にしたとき
- 暗いときやズーム倍率によっては、AF エリアが設定どおりに表示されない場合があります。

近づいて撮る(AFマクロ撮影)

使えるモード: iA P A S M ■M C1 C2 SCN ◎

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角(W端)にすると、レンズから1 cmまで接近して撮影できます。

フォーカス切換スイッチを[AF♣]に合わせる

● AFマクロ撮影時は[♣] が表示されます。

お知らせ

● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
● 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[⊛]にする(フラッシュを閉じる)ことをお勧めします。
● 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
● 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
● マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
● 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
● レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい、被写体にピントが合わない場合がありますので、お気をつけください。
● 以下の場合、AFマクロに設定できません。
・[スライド3D撮影]を除くシーンモード

手動でピントを合わせて撮る(MF: マニュアルフォーカス)

使えるモード: iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 マニュアルフォーカスに設定する

- フォーカス切換スイッチを [MF] に合わせる
- マニュアルフォーカス撮影時は画面に [MF] が表示されます。

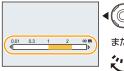
2 マニュアルフォーカス操作が有効になるまで後ダイヤルを押す

- 後ダイヤルを押すごとに、有効な操作が切り換わります。

3 後ダイヤルを回してフォーカス距離表示を表示させる

4 ◀/▶ を押す、または後ダイヤルを回してピントを合わせる

または

- 微調整する場合は、カーソルボタンで調整することをお勧めします。
- ピント調整の操作をやめると、数秒後にフォーカス距離表示は消えます。

■ サイドレバーを使って、ピントを合わせる

- フォーカス切換スイッチを[MF]に合わせる

1 セットアップメニューの[サイドレバー設定]を[FOCUS]に設定する(P46)

2 サイドレバーをスライドさせて、フォーカス距離表示を表示させる

3 サイドレバーをスライドさせてピントを合わせる

サイドレバー(T): 遠くへ
サイドレバー(W):近くへ

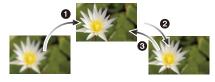
- 微調整する場合は、カーソルボタンで調整することをお勧めします。

■ MF アシストについて

セットアップメニューの[MFアシスト](P56)を[ON]に設定すると、ピント合わせのときにMFエリア(ピントを合わせる位置)が拡大表示されます。

- MFアシスト表示中に[MENU/SET]を押すと、▲/▼/◀/▶でMFエリアを移動させることができます。もう一度、[MENU/SET]を押すと MF アシストに戻ります。
- 以下の操作を行うと、MFエリアは中央に戻ります。
  - ・[記録画素数]、[画像横縦比]を変更したとき
  - ・電源スイッチを[OFF]にしたとき(スリープモードを含む)
- MFアシストまたはMFエリアの移動中に後ダイヤルを押すと、拡大エリアの倍率が変更できます。

マニュアルフォーカスのテクニック

❶ 後ダイヤルを回して、ピントを合わせる
❷ さらに同じ方向にカーソルボタンを数回押す
❸ カーソルボタンを逆方向に押して微調整する

■ 置きピン

流し撮りなど、オートフォーカスではピントが合いにくい動きの速い被写体を撮影する場合に、あらかじめ被写体を撮影するポイントに、マニュアルフォーカスを使ってピントを合わせておくテクニックです。運動会でゴールしてくる子供、結婚式での新郎新婦など、被写体との距離が決まっている場合の撮影に最適です。

■ ワンショットAF

マニュアルフォーカス時に、[FOCUS]を押すと、オートフォーカスでピントを合わせることができます。置きピンをするときなどに便利です。

お知らせ

- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- デジタルズーム領域または動画撮影中はMFアシストは表示されません。
- マニュアルフォーカスの距離表示は、ピント位置の目安です。ピントの確認は、画面(アシスト画面)で行ってください。
- スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
- AE ロックを併用すると、ピントの確認を行いやすくなります。

露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード： iA P A S M ■M C1 C2 SCN ◎

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体が AF エリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

※ [AF/AE LOCK]ボタンとして使う場合は、セットアップメニューの[AF/AE LOCK/Fn2]を[AF/AE LOCK]に設定してください。(P52)

1 被写体にAFエリアを合わせる

2 [AF/AE LOCK]を押して、ピントや露出を固定する

- 追尾 AF 設定時は働きません。
- もう一度 [AF/AE LOCK] を押すと、ロックは解除されます。

3 撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE] 設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

■ AF/AEロック切換について

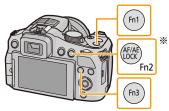
撮影メニューの[AF/AEロック切換]で、ピントや露出の固定内容を設定できます。

項目	設定内容
[AF]	ピントだけを固定します。 ● ピントが合うと、[AFL]およびフォーカスが表示されます。
[AE]	露出だけを固定します。 ● 露出が合うと、[AEL]および絞り値、シャッタースピードが表示されます。
[AF/AE]	ピントと露出を固定します。 ● ピントと露出が合うと、[AFL]と[AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードが表示されます。

お知らせ

- AEロックを行うと、液晶モニター/ファインダーに映る撮影画面の明るさも固定されます。
- マニュアル露出モードまたはシーンモード時は、AFロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は、AEロックのみ有効です。
- 動画撮影中に新たにAEロック、AFロックを行うことはできません。
- ロック後に動画撮影を行った場合、クリエイティブ動画モードではロックしたまま撮影ができます。クリエイティブ動画モード以外ではロックは解除されます。
- ロック後にズーム操作を行った場合は、ロックが解除されます。再度ロックし直してください。
- 被写体の明るさが変わっても、露出は固定されます。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

ファンクションボタンを使う

ファンクションボタンに撮影機能などを割り当てることができます。割り当てた機能はファンクションボタンを押すことで簡単に呼び出すことができます。

※ ファンクションボタンとして使う場合は、セットアップメニューの[AF/AE LOCK/Fn2]を[Fn2]に設定してください。(P52)

1 セットアップメニューから[Fnボタン設定]を選ぶ(P46)

2 ▲/▼ で割り当てるボタンを選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ 割り当てる機能を選び、[MENU/SET] を押す

割り当てできる機能	
フォトスタイル(P113)	動画記録枠表示(P55)
画像横縦比(P114)	残量表示切換(P55)
クオリティ(P116)	フラッシュ(P66)
測光モード(P119)	フラッシュ光量調整(P123)
FOCUS AF スタイル(P118)	オートブラケット(P125)
iDレンジコントロール(P119)	サイドレバー設定(P52)
ガイドライン表示(P54)	

● 設定後はメニューを終了してください。

絞り／シャッタースピードを決めて撮る

A： 絞り優先AEモード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 モードダイヤルを［A］に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。

露出メーター表示

絞り値

設定可能な絞り値※1、2（1/3 EV ごと）	本機で設定されるシャッタースピード※2（秒）
F2.8 ～ F8.0	8 ～ 1/4000

※1　コンバージョンレンズ使用時は、選べない絞り値があります。
※2　ズーム位置によっては、選べない値があります。

S： シャッター優先AEモード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを［S］に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。

シャッタースピード

設定可能なシャッタースピード（秒）（1/3 EV ごと）	本機で設定される絞り値※
8 ～ 1/4000	F2.8 ～ F8.0

※　ズーム位置によっては、選べない値があります。

M：　マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。

マニュアル露出アシスト

設定可能な絞り値※1、2(1/3 EV ごと)	設定可能なシャッタースピード※2(秒)(1/3 EV ごと)
F2.8 ～ F8.0	60※3 ～ 1/4000

※1　コンバージョンレンズ使用時は、選べない絞り値があります。
※2　ズーム位置によっては、選べない値があります。
※3　ISO 感度の設定により変わります。(P75)

■ マニュアル露出アシストについて

−3 0 +3	適正露出になります。
−3 0 +3	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
−3 0 +3	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

お知らせ

- 液晶モニター/ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。
  再生画面で確認してください。
- 絞り優先AEのとき、明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- 明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- シャッタースピードを遅く設定したときは、シャッターボタンを全押しすると、シャッタースピードの表示がカウントダウンします。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- ISO感度が[iISO]のときに、撮影モードをシャッター優先AEに切り換えると、ISO感度は [AUTO]になります。
- ISO感度が[AUTO]または[iISO]のときに、撮影モードをマニュアル露出に切り換えると、ISO感度は[100]になります。

撮影シーンに合わせて撮る(シーンモード)

撮影モード：SCN

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを[SCN]に合わせる

2 ▲/▼/◀/▶でシーンモードを選び、[MENU/SET]を押す

● [DISP.]を押すと、選択されているシーンモードの説明が表示されます。

お知らせ

● シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET]を押したあとに▶を押して、上記手順2に戻ります。

人物

昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。

■ 撮影のテクニック

● ズームの位置はできるだけ T 側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

美肌

昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特に滑らかに撮影できます。
(胸から上を撮りたいときに効果的です)

■ 撮影のテクニック

● ズームの位置はできるだけ T 側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

お知らせ

● 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
● 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。

風景

広がりのある風景を撮影できます。

シーンモードの設定方法は → P90

パノラマ

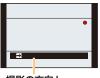
カメラを水平または垂直に動かしている間に連続撮影をして、1 枚のパノラマ写真に合成します。

1 **▲/▼ で撮影する方向を選び、[MENU/SET] を押す**

2 **撮影方向を確認し、[MENU/SET] を押す**
- 水平/垂直ガイドが表示されます。

3 **シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる**

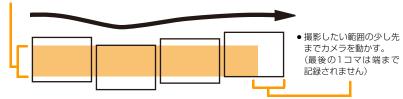
4 **シャッターボタンを全押しし、本機を手順 *1* で選択した方向へ小さな円を描くように動かして撮影する**

左から右へ撮影する場合

撮影の方向と進み具合(目安)

約8秒で1周するくらいの速さで動かす
- 一定の速度で本機を動かしてください。
速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

■ 撮影のテクニック

- 揺らさないように気をつけながら、撮影方向へカメラを動かす。
(揺れが大きいと撮影できなかったり、記録されるパノラマ写真が細く(小さく)なります)

- 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。
(最後の1コマは端まで記録されません)

5 **もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する**
- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。

シーンモードの設定方法は ☞ P90

お知らせ

- ズーム位置はW端に固定されます。
- ピント･ホワイトバランス･露出は、1コマ目の写真に最適な値で固定されます。このため、撮影の途中でピントや明るさが極端に変わる場合、パノラマ写真全体では適切なピントや明るさで撮影されない場合があります。
- 複数の写真から1枚のパノラマ写真に合成するため、被写体がゆがんだりつなぎ目が目立つ場合があります。
- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、撮影方向や合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

撮影方向	横	縦
水平方向	8000 画素	1080 画素
垂直方向	1440 画素	8000 画素

- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
  ･ 単調な色や模様が続く被写体(空や砂浜など)
  ･ 動いている被写体(人やペット、自動車、波、風に揺れる花など)
  ･ 短時間で色や模様が変化する被写体(ディスプレイに映った画像など)
  ･ 暗い場所
  ･ 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

■ 再生について

[パノラマ]で撮影した写真も、再生ズームすることができます。
また、再生中に▲を押すと、撮影時と同じ方向に自動でスクロール表示されます。

▲	開始 / 一時停止※
▼	終了

※ 一時停止中に ▶/◀ を押すと、コマ送り / コマ戻しができます。

シーンモードの設定方法は ☞ P90

スポーツ

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときにお使いください。

お知らせ

- シャッタースピードは最大1秒になります。
- 5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。

流し撮り

ランナーや車のように、一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて本機を振りながら撮影すると、被写体の背景が流れて写ります。この効果を「流し撮り」といいます。このモードに合わせると、流し撮りの効果を得やすくなります。

■ シャッタースピード設定

[オート]または[シャッター優先]から選択します。

- [オート]を選ぶと、シャッタースピードの設定はできません。
- [シャッター優先]を選ぶと、後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。

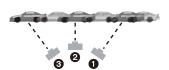
■ 撮影のテクニック

- 本機だけで追わずに、体を正面に向け、脇を締め、腰をひねりながら体全体を使って被写体を追いかけてください。
- 被写体が正面に来たときにシャッターボタンを押してください。シャッターボタンを押すときにも本機の振りを止めないようにしてください。

❶ ファインダーで被写体を捉え続けるように本機を動かす
❷ 動かしながらシャッターボタンを押す
❸ 途中で止めずにそのまま本機を動かし続ける

- 以下のことにもお気をつけください。
  - ・ファインダーを使う
  - ・動きの速い被写体を選ぶ
  - ・置きピンを使う
  - ・連写と合わせて撮影する(あとでよい画像を選択)

お知らせ

- 背景を流れやすくするため、シャッタースピードが遅くなります。このため、手ブレが起こりやすくなります。

シーンモードの設定方法は ☞ P90

夜景＆人物

人物とともに背景も見た目に近い明るさで撮影できます。

■ 撮影のテクニック

- **フラッシュをお使いください。([⚡S◎] に設定できます)**
- 被写体の人に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。

お知らせ

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- シャッタースピードは最大８秒になります。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約８秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

夜景

夜景を鮮やかに撮影できます。

お知らせ

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- シャッタースピードは最大８秒になります。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約８秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

手持ち夜景

夜景を高速連写で撮影し、1 枚の画像に合成します。手持ちの撮影でも手ブレやノイズが軽減されます。

お知らせ

- 連写中は本機を動かさないでください。
- 暗い場面で撮影したり、動いている被写体を撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

シーンモードの設定方法は ☞ P90

逆光補正HDR

露出の異なる写真を複数撮影して、1枚の階調豊かな画像に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。

■ HDRとは

High Dynamic Range(ハイダイナミックレンジ)の略で、幅広い明暗差を表現するための技術を表します。

お知らせ

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- 撮影条件によっては、複数撮影ではなく、1枚撮影になる場合があります。

料理

レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。

シーンモードの設定方法は ☞ P90

1赤ちゃん1/ 2赤ちゃん2

赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。[赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P142)で撮影画像に焼き込むことができます。

■ 誕生日/名前を設定する

1 **▲/▼で[月齢/年齢]または[名前]を選び、▶を押す**

2 **▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す**

3 **誕生日/名前を入力する**

誕生日: ◀/▶:項目(年・月・日)選択
▲/▼:設定
[MENU/SET]:決定

名前: 文字入力の方法については112ページの「文字を入力する」をお読みください。

- 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。
- 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。

4 **[MENU/SET]を押して終了する**

■ 月齢/年齢や名前の表示を解除する

手順**2**で[OFF]に設定する。

お知らせ

- **動画撮影中に記録した写真には、月齢/年齢や名前は記録されません。**
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。
- 誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。
- シャッタースピードは最大1秒になります。

シーンモードの設定方法は ☞ P90

ペット

犬や猫などのペットを撮りたいときにお使いください。ペットの誕生日や名前を設定できます。
[月齢/年齢]、[名前]については、96 ページの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。

夕焼け

夕焼けの風景を撮りたいときにお使いください。赤色を鮮やかに撮影できます。

高感度

薄暗い室内で被写体のブレを抑えて撮影できます。

記録画素数・画像横縦比設定

記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。

ガラス越し

乗り物や建物の透明なガラス越しに景色などを撮影するときに最適です。

お知らせ

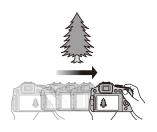
- ガラスが汚れていたり、ほこりが付いていたりすると、ガラスにピントが合う場合があります。
- ガラスの色によっては、自然な色合いにならない場合があります。そのときはホワイトバランスの設定を変更してください。(P76)

シーンモードの設定方法は　☞ P90

3D スライド3D撮影

カメラを水平に動かしている間に連続撮影をして、自動で 2 枚を選んで合成します。
3D写真を見るには3D対応テレビが必要です。
(本機では2Dで再生されます)
再生方法について、詳しくは 158 ページをお読みください。

■ 撮影のテクニック

撮影を開始し、本機を左から右へまっすぐ水平にスライドする
- 撮影中はガイドが表示されます。
- ガイドを目安にして約4秒間で 10 cm程度カメラをスライドしてください。

■ 3D写真撮影に失敗しないために

- 動きのない被写体を撮影する
- 屋外などの明るい場所で撮影する
- シャッターボタンを半押しして、ピント･露出を固定してから、シャッターボタンを全押ししてカメラをスライドする
- 被写体を中心よりやや右寄りに合わせて撮影を始めると、被写体が中心に寄りやすくなります

お知らせ

- **3D写真の縦撮影には対応していません。**
- 3D写真はMPO形式(3D)で保存されます。
- ズーム位置はW端に固定されます。
- 記録画素数は2M(16:9)に固定されます。
- [ISO感度]は自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。
- 3D撮影時は動画撮影できません。
- 以下の場合など、撮影状況によっては撮影できない場合があります。また撮影できても、写真に立体効果が得られなかったり、ゆがみが生じたりする場合があります。
  - ･ 被写体が暗すぎる/明るすぎる
  - ･ 被写体の明るさが変わる
  - ･ 被写体が動いている
  - ･ 濃淡の少ないもの

画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

撮影モード：

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを [ ] に合わせる

2 ▲/▼で作例写真から画像効果(フィルター)を選び、[MENU/SET]を押す

- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- [DISP.]を押すと、選択されている画像効果の説明が表示されます。

■ 画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単にお好みに合わせることができます。

1 **後ダイヤルを押して、調整項目を表示する**

2 **▲/▼で調整する項目を選ぶ**

[ ]：明るさを調整できます。

[ ]：背景のボケ具合を調整できます。

[ ]：画像効果を調整できます。

- 調整できる効果は、選択している画像効果により異なります。それぞれの画像効果の「調整できる項目」をお読みください。

3 **◀/▶を押す、または後ダイヤルを回して調整する**

- [/]を押すと、設定した値が初期設定(AUTO)に戻ります。
- カメラにおまかせで自動調整する場合は、設定を初期設定(AUTO)に戻してください。

4 **[MENU/SET]または後ダイヤルを押して決定する**

お知らせ

- 選んだ効果が反映されたプレビュー表示や撮影時の画面表示は、実際に撮影した画像と異なる場合があります。
- クリエイティブコントロールの設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- ホワイトバランスは[AWB]に、[ISO感度]は[AUTO]に固定されます。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、ボケ味コントロール機能を使えません。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は P99

※画像は効果を説明するためのイメージです。

ポップ

色を強調したポップアート風のフィルターです。

調整できる項目

鮮やかさ	落ち着いた色合い ⇔ 派手な色合い

レトロ

色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかいフィルターです。

調整できる項目

色合い	黄色っぽい色 ⇔ 赤っぽい色

ハイキー

全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げるフィルターです。

調整できる項目

色合い	ピンクっぽい色 ⇔ 水色っぽい色

ローキー

全体的に暗く落ち着いた雰囲気で、明るい部分を引き立てるフィルターです。

調整できる項目

色合い	赤っぽい色 ⇔ 青っぽい色

クリエイティブコントロールモードの設定方法は P99

セピア

セピア色のフィルターです。

調整できる項目

コントラスト	明暗差が小さい ⇔ 明暗差が大きい

ダイナミックモノクローム

コントラストを高めにし、力強いモノクロ写真に仕上げるフィルターです。

調整できる項目

コントラスト	明暗差が小さい ⇔ 明暗差が大きい

インプレッシブアート

強いコントラストで、現実にはない劇的な雰囲気を描き出すフィルターです。

調整できる項目

鮮やかさ	白黒 ⇔ 派手な色合い

ハイダイナミック

暗いところから明るいところまで、全体的にバランスのよい明るさで描き出すフィルターです。

調整できる項目

鮮やかさ	白黒 ⇔ 派手な色合い

クリエイティブコントロールモードの設定方法は P99

クロスプロセス

意外な発色で、独特の雰囲気に仕上げるフィルターです。

調整できる項目

色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色

● 発色させる色合いを選び、[MENU/SET] を押してください。

トイフォト

周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したようなフィルターです。

調整できる項目

色合い	オレンジっぽい色 ⇔ 青っぽい色

ジオラマ

周辺をぼかし、ジオラマ風に描き出すフィルターです。

調整できる項目

鮮やかさ	落ち着いた色合い ⇔ 派手な色合い

クリエイティブコントロールモードの設定方法は P99

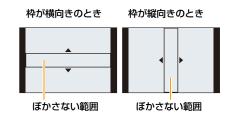
■ ぼかし方を設定する

[ジオラマ] では、ぼかす部分とぼかさない部分を意図的に作ることで、模型を撮影したような効果を描き出します。撮影する向き(ぼかす向き)やぼかさない部分の位置、大きさを設定することができます。

1 **[Fn3] ボタンを押して、設定画面を表示する**

● ぼかさない範囲を調整する枠が表示されます。

2 **枠の位置と大きさを調整し、[MENU/SET] を押して決定する**

	枠が横向きのとき	枠が縦向きのとき
▲/▼	移動(上下)	横向きに切り換え
◀/▶	縦向きに切り換え	移動(左右)
(後ダイヤル)	拡大、縮小 ● 3段階で切り換えることができます。	
● [DISP.] を押すと調整した枠が初期設定の状態に戻ります。		

お知らせ

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約 1/10の時間で記録されます。(10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります)
  表示される記録可能時間は約10倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。
- 大きい記録画素数に設定して写真撮影した場合、撮影後に画面が一定時間暗くなりますが、信号処理のためで異常ではありません。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は P99

ソフトフォーカス

全体を少しぼかし、柔らかい雰囲気に仕上げるフィルターです。

調整できる項目

ボケ具合	ボケ具合が小さい ⇔ ボケ具合が大きい

お知らせ

● 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

クロスフィルター

光源からの光が十字状に輝く、華やかな雰囲気を描き出すフィルターです。

調整できる項目

光の輝きの長さ	輝きが短い ⇔ 輝きが長い

お知らせ

● 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

ワンポイントカラー

モノクロ写真に特定の色だけを残し、印象的に強調するフィルターです。

調整できる項目

残す色の量	少し色を残す ⇔ 多く色を残す

■ 残したい色を設定する

画面の位置を選ぶことで、残したい色を選ぶことができます。

1 [Fn3] ボタンを押して、設定画面を表示する

2 残したい色を画面中央の枠内に入れて、[MENU/SET] を押す

お知らせ

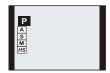
● 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

マニュアル操作で動画を撮る(クリエイティブ動画モード)

撮影モード： M

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影することができます。
クリエイティブ動画の設定を切り換えることで、モードダイヤルを[**P**]、[**A**]、[**S**]、[**M**]に切り換えたときのような設定を使用することができます。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

3 後ダイヤルを回して設定を変更する

項目	後ダイヤルを押すごとに、設定する項目が切り換わります	
P(プログラム AE)	―	露出補正
A(絞り優先 AE)	絞り値 F2.8～F11	露出補正
S(シャッター優先 AE)	シャッタースピード 1/30～1/20000秒※1	露出補正
M(マニュアル露出)	シャッタースピード 1/30～1/20000秒※1 (マニュアルフォーカス時は1/8～1/20000秒まで設定できます※2)	絞り値 F2.8～F11
HS(ハイスピード動画)(P106)	―	露出補正

※1　[撮影モード]を[AVCHD]設定時に、シャッタースピードを 1/60 秒より遅く設定して撮影した場合、1 コマ当たりの露光時間が長くなるため被写体の動きによってはコマが飛んで見えることがあります。
※2　シャッタースピードを1/30秒より遅く設定して撮影して、撮影中にマニュアルフォーカス以外に設定すると、シャッタースピードは自動的に1/30秒に設定されます。

お知らせ

- 絞り値、シャッタースピード、露出補正は動画撮影中でも設定の変更をすることができます。
  この場合、動作音が記録されることがありますのでお気をつけください。
- 手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。
- 蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- その他の動画撮影時の設定や操作方法については、38 ページの「動画を撮る」をお読みください。

ハイスピード動画撮影

[HS]（ハイスピード動画）に設定すると最大 240 コマ / 秒で記録し、肉眼ではとらえられない素早い動きの動画を撮影できます。

- 動画は MP4 のファイル形式で記録されます。

1 モードダイヤルを [🎥M] に合わせる

2 ▲/▼ で [HS] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ で画質設定を選び、[MENU/SET] を押す

- 動画撮影メニューの [ハイスピード動画] (P128)からでも画質設定を選択できます。

お知らせ

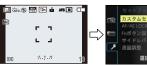
- **内蔵メモリーには記録できません。**
- 音声は記録されません。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大4 GBまでです。
- 再生時間に換算して29分59秒までの動画を記録できます。
- ピント、ズーム、露出、ホワイトバランスは撮影開始時に固定されます。
- 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。

カスタムモードで撮る(カスタムモード)

撮影モード：C1 C2

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

撮影モード[P]とメニューなどの設定を[C 1]に登録する時の例：

❶ 設定する
❷ 登録する
❸ カスタムモードに設定する
❹ ❷で登録した設定が呼び出される

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で4つまで登録しておくことができます。

1 **保存したい状態のモードダイヤルに合わせ、本機でメニュー設定をする**

2 **セットアップメニューから[カスタムセット登録]を選ぶ**(P46)

3 **▲/▼で登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押す**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

モードダイヤルを [C1] または [C2] に合わせる

- [C2]に合わせた場合は、▲/▼でカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押してください。

カスタムセット表示

C1 P STD. MP4 VGA 12M

■ メニュー設定を変更する場合は

撮影モードを[C1]または[C2]に設定した状態で、一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

お知らせ

- 一部のメニュー項目は、他の撮影モードに反映されるため保存されません。

個人認証機能を使って撮る

使えるモード：iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN 🎨

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

お買い上げ時、[個人認証]は[OFF]に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。

- **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**

撮影時

・カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※
（名前を設定している場合）

再生時

・名前や月齢/年齢の表示（情報を登録している場合）
・登録人物から選んだ人物の画像のみを再生（[カテゴリー選択]（絞り込み再生））

※名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

お知らせ

- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- 個人認証は、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。
- 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー選択]（絞り込み再生）の個人認証に分類されません。
- **個人認証情報を変更した場合**(P111)**でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー選択]（絞り込み再生）の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え](P152)を行ってください。
- 以下の場合、[個人認証]は使用できません。
・[オートフォーカスモード]の[👥]に設定できない撮影モード
・シーンモードの[スライド3D撮影]
・マニュアルフォーカス時
・動画撮影時

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど（1 登録につき最大 3 枚）、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

■ 顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

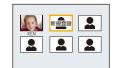
- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。（P111）
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

1 撮影メニューから［個人認証］を選び、▶ を押す（P46）

2 ▲/▼ で［登録］を選び、［MENU/SET］を押す

3 ▲/▼/◀/▶ で未登録の顔画像枠を選び、［MENU/SET］を押す

4 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。
- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- ［DISP.］を押すと、顔登録撮影の説明が表示されます。

5 ▲/▼で編集項目を選び、▶を押す

- 顔画像は3枚まで登録できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>名前</td><td colspan="2">名前を設定します。
1 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す
2 名前を入力する
● 文字入力の方法については、112ページの「文字を入力する」をお読みください。</td></tr>
<tr><td>月齢/年齢</td><td colspan="2">誕生日を設定します。
1 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ◀/▶で項目(年・月・日)を選んで▲/▼で設定し、[MENU/SET]を押す</td></tr>
<tr><td>フォーカスアイコン</td><td colspan="2">ピントが合うときに表示されるフォーカスアイコンを変更します。
▲/▼でフォーカスアイコンを選び、[MENU/SET]を押す</td></tr>
<tr><td rowspan="2">追加登録</td><td>追加登録</td><td>顔画像を追加登録します。
1 未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET]を押す
2 「顔画像を登録する」の手順4を行う</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>顔画像を1枚消去します。
◀/▶で解除したい顔画像を選び、[MENU/SET]を押す
● 画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。</td></tr>
</table>

- 設定後はメニューを終了してください。

登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

1. 撮影メニューから[個人認証]を選び、▶を押す(P46)
2. ▼で[登録]を選び、[MENU/SET]を押す
3. ▲/▼/◀/▶で編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET]を押す
4. ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 「顔画像を登録する」の手順5を行う
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 ▲/▼/◀/▶で登録順を選び、[MENU/SET]を押す
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。

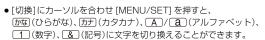
- 設定後はメニューを終了してください。

文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。
（ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます）

1 入力画面を表示する

- 入力画面は以下の操作から表示できます。
  - ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[名前]
  - ・[個人認証]の[名前]
  - ・[トラベル日付]の[旅行先]
  - ・[タイトル入力]

2 ▲/▼/◀/▶で文字を選び、[MENU/SET]で入力する

- [切換]にカーソルを合わせ [MENU/SET] を押すと、
  かな（ひらがな）、カナ（カタカナ）、A / a（アルファベット）、
  1（数字）、&（記号）に文字を切り換えることができます。
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、ズームレバーを［Q］(T)側に回す、または後ダイヤルを右に回してカーソルを移動してください。
- 項目にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押すと以下の操作が行えます。
  - ・[␣]：　空白を入力
  - ・[消去]：　文字を消去
  - ・[◀]：　入力位置を左に移動
  - ・[▶]：　入力位置を右に移動
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - ・かな / カナ：　最大15文字（[個人認証]の名前設定時は最大6文字）
  - ・A / a / 1 / &※：最大30文字（[個人認証]の名前設定時は最大9文字）
  - ※　[＼]、[「]、[」]、[・]、[ー]は最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字）

3 ▲/▼/◀/▶で[決定]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押して入力を終了する

文字入力例
「パリ」と入力する場合： ❶ ▲/▼/◀/▶ で[切換]を選ぶ ❷ カナに切り換わるまで [MENU/SET] を押す ❸ ▲/▼/◀/▶で「ハ」に移動し、[MENU/SET]を押す ❹ ▲/▼/◀/▶ で「゛ ゜」に移動して[MENU/SET]を2回押し、「パ」にする ❺ ▲/▼/◀/▶で「ラ」に移動して[MENU/SET]を2回押し、「リ」にする ❻ ▲/▼/◀/▶で [決定] に移動し、[MENU/SET] を押す

お知らせ

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- [タイトル]、[旅行先]、[名前]（赤ちゃん/ペット）、[名前]（個人認証）の優先順位で表示されます。

撮影メニューを使う

撮影メニューの設定方法は ☞ P46

フォトスタイル

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

撮影したいイメージに合わせて、6種類の効果を選択することができます。お好みに合わせて効果の色や画質を調整することができます。

設定	設定内容
STD. [スタンダード]	標準的な設定
VIVD [ヴィヴィッド]	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
NAT [ナチュラル]	コントラスト低めの柔らかな効果
MONO [モノクローム]	色味を抜いた単色の効果
SCNY [風景]	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
PORT [人物]	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
CUST [カスタム]	あらかじめ登録している設定を使用

■ 画質調整する

1 ◀/▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ

2 ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で調整する

項目		効果
コントラスト	＋	画像の明暗差を大きくします。
	−	画像の明暗差を小さくします。
S シャープネス	＋	画像の輪郭を強調します。
	−	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	＋	派手で鮮やかな色になります。
	−	落ち着いた色になります。
NR ノイズリダクション	＋	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感が僅かに低下する場合があります。
	−	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

- 登録した内容は電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[＋]が表示されます。
- [モノクローム]選択時は[彩度]で色調を変更できます。

3 ▼ で [カスタム登録] を選び、[MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 設定を[カスタム]に登録できます。

撮影メニューの設定方法は ☞ P46

画像横縦比

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN 🎨

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

設定	設定内容
[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

お知らせ

● プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P188)

撮影メニューの設定方法は P46

記録画素数

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

画像横縦比：[4:3]のとき

設定	記録画素数
[12M]	4000×3000
[8M EZ] ※	3264×2448
[5M EZ]	2560×1920
[3M EZ] ※	2048×1536
[2M EZ] ※	1600×1200
[0.3M EZ]	640×480

画像横縦比：[3:2]のとき

設定	記録画素数
[10.5M]	4000×2672
[7M EZ] ※	3264×2176
[4.5M EZ] ※	2560×1712
[2.5M EZ] ※	2048×1360
[0.3M EZ] ※	640×424

画像横縦比：[16:9]のとき

設定	記録画素数
[9M]	4000×2248
[6M EZ] ※	3264×1840
[3.5M EZ] ※	2560×1440
[2M EZ] ※	1920×1080
[0.2M EZ] ※	640×360

画像横縦比：[1:1]のとき

設定	記録画素数
[9M]	2992×2992
[6M EZ] ※	2448×2448
[3.5M EZ] ※	1920×1920
[2.5M EZ] ※	1536×1536
[0.2M EZ] ※	480×480

※　インテリジェントオートモード時は設定できません。

お知らせ

- 画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。
- 特定のモードではEX光学ズームが使えませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。EX光学ズームが使えないモードについては、65 ページをお読みください。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- [クオリティ]の[RAW]設定時、記録画素数は設定できません。

撮影メニューの設定方法は　P46

クオリティ

使えるモード: iA P A S M 動画M C1 C2 SCN

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

設定		設定内容
[ファイン]	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
[スタンダード]		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
[RAWファイン]	RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像([ファイン]または[スタンダード])を同時に記録できます。※1
[RAWスタンダード]		
[RAW]	RAW	RAW 画像のみを記録できます。※2

※ 1　本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。
※ 2　各画像横縦比の最大記録画素数に固定されます。

お知らせ

- シーンモードの[高感度]時は[スタンダード]に固定されます。
- 3D 撮影時は、以下のアイコンが表示されます。
  [3Dファイン](3D+ファイン):　MPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。
  [3Dスタンダード](3D+スタンダード):　MPO画像とスタンダード相当のJPEG画像を同時に記録します。
- RAWファイルを利用すると、より高度な画像の編集が可能です。
  編集した画像はパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。RAWファイルの現像や編集には、CD-ROM(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。
- [RAW]は[RAWファイン]または[RAWスタンダード]よりも小さいデータ容量で記録できます。

ISO感度上限設定

使えるモード: iA P A S M 動画M C1 C2 SCN

被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。

設定: [AUTO]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]

お知らせ

- ISO感度が[AUTO]または[iISO]時に設定が可能です。
- クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。
  [AUTO]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]

撮影メニューの設定方法は ☞ P46

ISO感度ステップ

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

ISO感度の設定を、1/3 EVごとの設定値に変更します。

設定	設定内容
[1/3 EV]	[100]、[125]、[160]、[200]、[250]、[320]、[400]、[500]、[640]、[800]、[1000]、[1250]、[1600]、[2000]、[2500]、[3200]、[H4000]※、[H5000]※、[H6400]※
[1 EV]	[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[H6400]※

※　[拡張ISO感度]を設定時のみ

お知らせ

- [1/3 EV]から[1 EV]に設定を変更すると、ISO感度は[1/3 EV]時に選んでいた設定値に最も近い値になります。（もう一度[1/3 EV]に変更した場合、設定値は戻りません。[1 EV]時に選んでいた設定値のままになります。）

拡張ISO感度

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

ISO 感度を[6400]まで設定できるようになります。

設定：[ON]、[OFF]

個人認証

- 詳しくは、109 ページをお読みください。

オートフォーカスモード

- 詳しくは、79 ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法は　P46

AFスタイル

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

写真撮影時のピントの合わせ方を設定します。

設定	被写体の動き、撮影シーン（お勧め）	設定内容
AFS	静止している（風景、記念撮影など）	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。 半押ししている間、ピントは固定されます。
AFF	動きが予測できない（子供、ペットなど）	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。 半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている（スポーツ、鉄道など）	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。 動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。

- **[AFF]、[AFC]で撮影する場合は**
  - ・撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
  - ・シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。
  - ・バッテリーの消耗が早くなる場合があります。

クイックAF

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。

設定：[ON]、[OFF]

お知らせ

- バッテリーの消耗が早くなる場合があります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 追尾AF動作中は働きません。
- 以下の場合、[クイック AF]に設定できません。
  - ・シーンモードの[流し撮り]、[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ソフトフォーカス]
  - ・マニュアルフォーカス時

撮影メニューの設定方法は P46

AF/AE ロック切換

● 詳しくは、86 ページをお読みください。

測光モード

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

設定	設定内容
[(•)]（マルチ測光）	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
[( )]（中央重点測光）	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
[•]（スポット測光）	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット

iDレンジコントロール

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。

設定：［強］、［中］、［弱］、［OFF］

お知らせ

● ［ISO感度］が［100］のときでも、［iDレンジコントロール］有効時に撮影すると、［ISO感度］は［100］より大きくなることがあります。
● 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
● ［弱］、［中］、［強］は効果の最大範囲を表します。

撮影メニューの設定方法は ☞ P46

下限シャッター速度

使えるモード： P C1 C2

下限シャッター速度を遅く設定すると、暗い場所での撮影時に明るく撮影できます。
また、速く設定すると、被写体のブレを軽減して撮影することができます。

設定：[AUTO]、[1/250]、[1/125]、[1/60]、[1/30]、[1/15]、[1/8]、[1/4]、[1/2]、[1]

下限シャッター速度設定	1/250 秒	1 秒
明るさ	暗くなる	明るくなる
手ブレ	少ない	多い

お知らせ

- 通常は、[AUTO]に設定してお使いください。（[AUTO]以外を選択した場合、画面に [MIN] が表示されます）
- [AUTO]を選ぶと、手ブレ補正設定時にブレ量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大 1 秒になります。
- [下限シャッター速度]を遅く設定するときは、手ブレが起きやすいため三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- [下限シャッター速度]を速く設定するときは、暗く写りやすいので、明るいところで撮影することをお勧めします。適正露出でない場合、シャッターボタンを半押しすると [MIN] が赤く点滅します。

超解像

使えるモード： P A S M 🎥M C1 C2

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影することができます。

設定	設定内容
[iA ZOOM]	[超解像]が働き、画質の劣化を抑えつつズーム倍率を2倍上げることができます。
[ON]	[超解像]が働きます。
[OFF]	—

お知らせ

- iAズームについては63ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法は ☞ P46

デジタルズーム

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

光学ズーム、EX光学ズーム、またはiAズームよりも、さらに拡大することができます。

設定：[ON]、[OFF]

お知らせ

- 詳しくは、63ページをお読みください。

手ブレ補正

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。動画撮影時はアクティブモード（動画用手ブレ補正）が自動的に働きます。歩きながら動画を撮影するときなど、大きな揺れに対してブレにくくします。

設定：[ON]、[OFF]

お知らせ

- アクティブモードはW端時、より強い補正効果が得られます。
- 以下の動画撮影時、アクティブモードは働きません。
  ・[撮影モード]を[MP4]の[VGA]に設定時
  ・[コンバージョン]設定時
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
  ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  ・デジタルズーム領域
  ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- シーンモードの[流し撮り]で、[ON]選択時は、縦方向のみ手ブレが補正されます。
- シーンモードの[手持ち夜景]では、[ON]に固定されます。
- 以下の場合、手ブレ補正は [OFF] に固定されます。
  ・シーンモードの[パノラマ]、[スライド 3D 撮影]
  ・クリエイティブ動画モードの[ハイスピード動画]

撮影メニューの設定方法は　P46

AF補助光

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。（撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます）

設定：[ON]、[OFF]

お知らせ

- 補助光の有効距離は1.5 mです。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- レンズフードは外してください。
- レンズ部により、AF補助光の外周の一部がケラレる場合がありますが、性能に問題ありません。
- シーンモードの[風景]、[流し撮り]、[夜景]、[手持ち夜景]、[夕焼け]、[ガラス越し]では、AF補助光は[OFF]に固定されます。

AF補助光ランプ

フラッシュ

- 詳しくは、66ページをお読みください。

フラッシュシンクロ

使えるモード： iA P A S M C1 C2

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

設定	設定内容
[先幕（さきまく）]	一般的なフラッシュ撮影の方法です。
[後幕（あとまく）]	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。

お知らせ

- 通常は[先幕]に設定してください。
- [後幕]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。

撮影メニューの設定方法は ☞ P46

フラッシュ光量調整

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

撮影した写真が明るすぎたり、暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

お知らせ

- −2 EV から+2 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、"0 EV"を選んでください。
- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面のフラッシュアイコンに[+]または[−]が表示されます。

デジタル赤目補正

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

赤目軽減（[⚡A◎]、[⚡S◎]）選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

設定：[ON]、[OFF]

お知らせ

- [オートフォーカスモード]が[顔認識]で顔認識しているときのみ働きます。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- インテリジェントオートモード時は[ON]に固定されます。
- 以下の場合、[デジタル赤目補正] は使えません。
  ・ シーンモードの[スライド3D撮影]

撮影メニューの設定方法は P46

コンバージョン

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

別売のコンバージョンレンズを使用することで、より望遠に撮影したり、小さな被写体をよりアップに撮影することができます。

設定	設定内容
[T]	テレコンバージョンレンズを装着するとき
[C]	クローズアップレンズを装着するとき
[OFF]	—

お知らせ

- **レンズの取り付け方については、170ページをお読みください。**
- コンバージョンレンズを使用しないときは、必ず[OFF]に設定してください。
- 以下の場合、[コンバージョン]は使えません。
  ・シーンモードの[パノラマ]、[スライド3D撮影]
- 詳しくは、コンバージョンレンズの説明書をお読みください。

撮影メニューの設定方法は P46

オートブラケット

使えるモード： iA P A S M ▲M C1 C2 SCN ◎

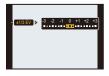
1回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に3枚撮影します。

オートブラケット± 1EV の場合

1 枚目	2 枚目	3 枚目
± 0EV	− 1EV	＋ 1EV

◀/▶ で露出の補正幅を設定し、[MENU/SET] を押す

● オートブラケット撮影をしない場合は、“0”（OFF）を選んでください。

お知らせ

● オートブラケットを設定すると、画面に[ ]が表示されます。
● 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。
● 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
● シャッター優先 AE またはマニュアル露出時は、シャッタースピードが 1 秒より長くなると、オートブラケットが無効になります。
● **オートブラケットを設定すると、フラッシュは[ ]になります。**
● 以下の場合、オートブラケットの使用はできません。
・クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]、[ソフトフォーカス]、[クロスフィルター]
・シーンモードの[パノラマ]、[手持ち夜景]、[逆光補正HDR]、[スライド3D撮影]
・動画撮影時

撮影メニューの設定方法は P46

日付焼き込み

使えるモード: iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN ✎

撮影日時入りの写真を撮影できます。

設定	設定内容
[日付]	年月日を焼き込みます。
[日時]	年月日時分を焼き込みます。
[OFF]	—

お知らせ

- **[日付焼き込み]を設定して撮影した写真の日付情報は、消すことができません。**
- **日付焼き込みされた写真をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。**
- 以下の場合、日付情報を焼き込むことができません。
  - ・時計設定を行っていない場合
  - ・[クオリティ]を[RAW]にして撮影した場合
- 以下の場合、日付焼き込みは[OFF]に固定されます。
  - ・動画撮影時
  - ・オートブラケット撮影時
  - ・シーンモードの[パノラマ]、[スライド3D撮影]
  - ・[連写]撮影時
- [日付焼き込み]を設定して撮影した写真は[文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]、[傾き補正]の設定はできません。
- [日付焼き込み]を[OFF]にして撮影しても、[文字焼き込み](P142)を使って撮影画像に日付を焼き込んだり、日付プリント(P150、167)を設定することができます。

時計設定

- 詳しくは、27ページをお読みください。

動画撮影メニューを使う

動画撮影メニューの設定方法は P46

クリエイティブ動画モード時、設定可能な撮影メニューは動画撮影メニューに表示されます。

- 以下の場合、動画撮影メニューは表示されません。
  - ・シーンモードの[パノラマ]、[スライド 3D撮影]
  - ・クリエイティブコントロールモードの [ソフトフォーカス]、[クロスフィルター]

撮影モード

使えるモード: iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

動画のデータ形式を設定します。

設定	設定内容
[AVCHD]	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
[MP4]	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

画質設定

使えるモード: iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

記録する動画の画質を設定します。

[AVCHD] を選んだ場合

設定	画質(ビットレート)	コマ数	画像横縦比
[PSH]	1920×1080画素/約28 Mbps	60p	16:9
[FSH]	1920×1080画素/約17 Mbps	60i	
[SH]	1280×720画素/約17 Mbps	60p	

[MP4] を選んだ場合

設定	画質(ビットレート)	コマ数	画像横縦比
[FHD]	1920×1080画素/約20 Mbps	30 コマ/秒	16:9
[HD]	1280×720画素/約10 Mbps		
[VGA]	640×480画素/約4 Mbps		4:3

お知らせ

- 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、数値が大きいほど高画質になります。本機は、VBR記録方式を採用しています。VBRとは、Variable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間当たりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

動画撮影メニューの設定方法は ☞ P46

ハイスピード動画

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

クリエイティブ動画モードの[ハイスピード動画]撮影時の画質を設定します。

● [ハイスピード動画] 設定時のみ表示されるメニューです。

設定	設定内容
[240fps VGA]	[MP4]の[VGA]で240 コマ / 秒で記録します。
[120fps HD]	[MP4]の[HD]で120 コマ / 秒で記録します。

AF連続動作

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。

設定： [ON]、[OFF]

お知らせ

● 動画撮影開始時のピント位置で固定したい場合は、[OFF] に設定してください。

動画撮影メニューの設定方法は P46

風音低減

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

音声記録時に風雑音がある場合は、それを自動的に判別し記録しにくくします。

設定：[AUTO]、[OFF]

お知らせ

- 風音低減を設定しているときは、通常と音質が異なる場合があります。
- 以下の場合、[OFF] に固定されます。
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
  - ・[ズームマイク]を[ON]に設定時
  - ・クリエイティブ動画モードの[ハイスピード動画]

ズームマイク

使えるモード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

ズーム操作に連動して、拡大では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに収録します。

設定：[ON]、[OFF]

お知らせ

- [ON]に設定時、ズーム操作を行うと、周囲の音に合わせて動作音も強調されて記録される場合があります。また、[OFF] のときよりも録音レベルが下がります。
- 画像の拡大時には、音声のステレオ感がなくなります。
- 以下の場合、[OFF] に固定されます。
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
  - ・クリエイティブ動画モードの[ハイスピード動画]

撮影した写真で楽しむ

かんたんレタッチ

撮影した写真の明るさや色のバランスを整えることができます。

● かんたんレタッチされた写真は新しく作成されますので、内蔵メモリーまたはカードの容量に余裕があることを確認してください。また、カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると、かんたんレタッチはできません。

※ 画像は効果を説明するためのイメージです。

1 ◀/▶ で写真を選び、▲ を押す

2 ▲/▼ で [かんたんレタッチ] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] を押す

● 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

お知らせ

● 写真によってはかんたんレタッチ後にノイズが強調される場合があります。
● 写真によっては効果が分かりにくい場合があります。
● すでにレタッチされた写真にはかんたんレタッチできない場合があります。
● 他機で撮影した写真にはかんたんレタッチできない場合があります。
● 以下の場合、かんたんレタッチはできません。
・ 動画
・ 3D 写真
・ シーンモードの [パノラマ] で撮影された写真

クリエイティブレタッチ

撮影した写真にお好みの効果を加えることができます。

● クリエイティブレタッチされた写真は新しく作成されますので、内蔵メモリーまたはカードの容量に余裕があることを確認してください。また、カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっているとクリエイティブレタッチはできません。

1 ◀/▶ で写真を選び、▲ を押す

2 ▲/▼ で [クリエイティブレタッチ] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

● クリエイティブコントロールモードと同じ以下の項目を選べます。それぞれの効果について、詳しくは 99 ページをお読みください。
[ポップ]/[レトロ]/[ハイキー]/[ローキー]/[セピア]/[ダイナミックモノクローム]/
[インプレッシブアート]/[ハイダイナミック]/[クロスプロセス]/[トイフォト]/[ジオラマ]/
[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[ワンポイントカラー]

● 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

● 以下の項目を選択したとき、[MENU/SET] を押すと画像効果をお好みに合わせて設定できます。

・[クロスプロセス]: 色合いを緑っぽい色、青っぽい色、黄色っぽい色、赤っぽい色から選択できます。
・[トイフォト]: 色合いをオレンジっぽい色、標準、青っぽい色から選択できます。
・[ワンポイントカラー]: 残したい色を設定できます。

お知らせ

● 写真によっては効果が分かりにくい場合があります。
● クリエイティブコントロールモードに比べて効果が弱い場合があります。
● 他機で撮影した写真には、クリエイティブレタッチができない場合があります。
● 以下の場合、クリエイティブレタッチはできません。
・動画
・3D 写真
・シーンモードの [パノラマ] で撮影された写真

連写画像を見る

■ 連写グループについて

連写設定[40]、[60]で撮影された画像は、1回の連写で撮影された連続画像をひとまとめにした連写グループとして保存されます。
連写グループには連写アイコン[ ]が表示されます。

- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、[ ]が付いた連写グループを消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

お知らせ

- 連写画像の合計が 50000枚を超えると、それ以降に撮影された連写画像は、グループ化されません。
- 他機で撮影した連写画像は、連写グループとして認識されない場合があります。
- 時計設定を行わずに撮影した場合、連写画像はグループ化されません。
- 1枚を残した状態で、それ以外の画像をすべて消去すると、連写グループではなく1枚の画像として扱われます。

連写画像を連続再生する

◄/► で連写アイコン[ ]が付いた画像を選び、▲ を押す

■ 連写グループ連続再生中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◄/► に対応しています。

▲	再生 / 一時停止
▼	停止
◄	早戻し/画像戻し※
►	早送り/画像送り※

※一時停止中のみ操作できます。

連写画像を1枚ずつ再生する

1 **連写アイコン[ ]が付いた画像を選び、▼ を押す**

2 **◄/► で画像を送る**

- もう一度▼を押すと、通常再生画面に戻ります。
- 連写グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)

連写画像を編集する

- 以下の編集メニューが使えます。
  - ・[WEBアップロード設定]、[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]※、[傾き補正]※、[お気に入り]、[プリント設定]、[プロテクト]、[画像コピー]
  - ※連写グループ単位での一括編集はできません。

連写グループ単位(グループ内すべての画像)で編集する

1. 再生時に [MENU/SET] を押し、再生メニューを表示する(P46)
2. ▲/▼ で項目を選び、▶ を押す
3. [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す
4. 連写アイコン [] が付いた画像を選び、編集を行う

連写グループ内の画像を 1 枚ずつ編集する

1. 連写アイコン [] が付いた画像を選び、▼ を押す
2. [MENU/SET] 押し、再生メニューを表示する
3. ▲/▼ で項目を選び、▶ を押す
4. [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す
5. 画像を選び編集を行う

■ 連写グループ再生時の[お気に入り]/[プリント設定]/[プロテクト]アイコン表示について

連写グループ内の画像に[お気に入り](P148)、[プリント設定](P149)、[プロテクト](P151)設定をすると、グループの先頭画面の各アイコンに設定枚数([プリント設定]時は設定枚数と合計枚数)が表示されます。

連写グループ代表画像(連写の 1 枚目)	[お気に入り]	[プリント設定]	[プロテクト]
Ⓐ 50枚	Ⓑ 50枚 6	Ⓒ Ⓑ 50枚 6	Ⓑ 50枚 6

Ⓐ 連写グループ内に保存されている全画像の合計枚数
Ⓑ 連写グループ内で設定された画像の枚数
Ⓒ 連写グループ全体で設定されたプリント枚数
- 例えば、2 枚の連写画像それぞれに 3 枚ずつプリント設定しているときは 6 と表示されます。

お知らせ

- それぞれの編集方法について、詳しくは「再生メニューを使う」をお読みください。(P139)
- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]、[傾き補正]を行った画像は、連写画像とは別に新規保存されます。

いろいろな再生方法

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 **再生時に [MENU/SET] を押す**

2 **▶ を押す**

3 **▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す**

- 以下の項目を選択できます。

2D/3D切換※
通常再生(P41)
スライドショー(P134)

絞り込み再生(P136)
カレンダー検索(P138)

※ 3D写真の再生方法を切り換えることができます。HDMI出力時のみ表示されるメニューです。再生方法について詳しくは、158 ページをお読みください。

スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、3D写真のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

1 **▲/▼ で再生するグループを選び、[MENU/SET] を押す**

- [3D]の画像を3Dで再生する方法については、158ページをお読みください。
- [カテゴリー選択]時は、▲/▼/◀/▶ でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください。
カテゴリーの詳細については、137ページをお読みください。

2 **▲で [開始] を選び、[MENU/SET] を押す**

3 **▼ を押してスライドショーを終了する**

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

再生モードの設定方法は ☞P134

■ スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

▲	再生 / 一時停止
▼	停止
◀	前の画像へ※
▶	次の画像へ※

[W]	音量下げる
[T]	音量上げる

※以下の場合のみ操作できます。
・一時停止中
・動画再生中
・連写グループ再生中
・パノラマ写真再生中

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

[効果]

画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。
[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、[おまかせ]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにお勧めの効果で再生します。
- [動画のみ]または[カテゴリー選択]の[ ]のスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
- 連写グループのスライドショー時は、[効果]を設定していても無効になります。
- 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の[効果]は動作しません。
- [3D]のスライドショー時、画面効果は動作しません。

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

設定	設定内容
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	ON、OFF
[音設定]	[AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 音声(動画のみ)を再生します。 [OFF]: 音を出しません。

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。
- 以下の画像のスライドショー時、[再生間隔]の設定は無効になります。
  ・動画
  ・連写グループ
  ・パノラマ写真

再生モードの設定方法は ☞ P134

絞り込み再生

写真、動画、または3D写真など、画像を分類して再生します。

設定	設定内容
[写真のみ]	写真のみが再生されます。
[動画のみ]	動画のみが再生されます。
[3D]	3D 写真のみが再生されます。 ● [3D]の写真を3Dで再生する方法については、158 ページをお読みください。
[カテゴリー選択]	シーンモードなどのカテゴリー(人物·風景·夜景など)を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。 **▲/▼/◄/► でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押す** ● 画像が見つかったカテゴリーのみ選択できます。
[お気に入り]	[お気に入り]設定(P148)した画像を再生することができます。

再生モードの設定方法は ☞ P134

■ 分類されるカテゴリーについて

[カテゴリー選択]時は、以下のように分類されます。

	シーンモードなどの撮影情報
	個人認証※
	人物、i人物、美肌、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、i赤ちゃん
	風景、i風景、パノラマ、夕焼け、i夕焼け、ガラス越し
	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、手持ち夜景、i手持ち夜景
	スポーツ、流し撮り
	赤ちゃん、i赤ちゃん
	ペット
	料理
	トラベル日付
	連写速度を[40]または[60]に設定して連続撮影された写真

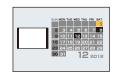
※ ▲/▼/◀/▶ で再生したい人物を選び [MENU/SET] を押して再生してください。
連写速度を[40]または[60]で撮影された画像は連写グループ全体が個人認証画像として扱われます。

再生モードの設定方法は P134

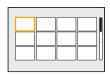
カレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させせることができます。

1 ▲/▼/◀/▶で再生する日付を選ぶ

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

2 [MENU/SET]を押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- [🗑/↩]を押すと、カレンダー検索表示画面に戻ります。

お知らせ

- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2012年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生メニューを使う

再生メニューの設定方法は P46

画像共有サイトへアップロードする画像を設定したり、撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定などができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]または[傾き補正]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをお勧めします。

WEB アップロード設定

画像共有サイト(LUMIX CLUB(PicMate)/Facebook/YouTube)へアップロードする画像を、本機で設定しておくことができます。

- LUMIX　CLUB(PicMate)へは写真のみ、YouTube へは動画のみを、Facebook へは写真、動画どちらもアップロードすることができます。
- **内蔵メモリーの画像には設定できません。カードにコピー(P153)してから[WEBアップロード設定]をしてください。**

1 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

[複数設定]選択時
[DISP.]を押して設定(繰り返す)し、
[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISP.]を押すと設定が解除されます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

再生メニューの設定方法は ☞ P46

■ 画像共有サイトへアップロードする

[WEBアップロード設定]をすると、本機に内蔵のアップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)がカードへ自動的にコピーされます。
パソコンに接続したあと(P159)、アップロードの操作を行います。詳しくは、163ページをお読みください。

■ [WEBアップロード設定]を全解除する

1 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 他機で撮影された画像には、設定できない場合があります。
- 512 MB未満のカードでは設定できません。
- クオリティを [RAW] にして撮影された画像には、設定できません。

再生メニューの設定方法は P46

タイトル入力

撮影画像に文字(コメント)を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み](P142)で撮影画像に焼き込むことができます。

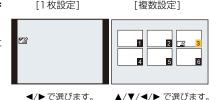
1 再生メニューから[タイトル入力]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでにタイトルが登録されている画像には[]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISP.]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISP.]を押すと設定が解除されます。

4 文字を入力する(P112)

- 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 以下の場合、タイトル入力できません。
  - ・動画
  - ・3D写真
  - ・他機で撮影された画像
  - ・クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像

再生メニューの設定方法は ☞ P46

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでに日付 / 文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISP.]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISP.]を押すと設定が解除されます。

◀/▶ で選びます。　▲/▼/◀/▶ で選びます。

4 ▲/▼で焼き込む項目を選び、▶ を押す

5 ▲/▼で設定を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
[撮影日時]	[日付]: 年月日を焼き込みます。 [日時]: 年月日時分を焼き込みます。 [OFF]
[名前]	[ ](個人認証): [個人認証]で登録された名前を焼き込みます。 [/](赤ちゃん/ペット): シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。 [OFF]
[旅行先]	[ON]: [旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。 [OFF]
[トラベル日付]	[ON]: [トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。 [OFF]
[タイトル]	[ON]: [タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。 [OFF]

再生メニューの設定方法は P46

6 [MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 0.3 M より小さい画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・動画
  - ・シーンモードの [パノラマ] で撮影された写真
  - ・3D 写真
  - ・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - ・日付/文字焼き込みされた画像
  - ・他機で撮影された画像
  - ・クオリティを [RAW] 、[RAW] または [RAW] にして撮影された画像

再生メニューの設定方法は ☞ P46

動画分割

撮影した動画を 2 つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。
分割すると、元に戻すことができません。

1 再生メニューから [動画分割] を選ぶ

2 ◀/▶ で分割編集したい動画を選び、[MENU/SET] を押す

3 分割したい位置で ▲ を押す

- もう一度 ▲ を押すと、続きから動画が再生されます。
- 一時停止中に ◀/▶ を押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 ▼ を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。

お知らせ

- 他機で撮影された動画は分割できない場合があります。
- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- [MP4] 動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。[カレンダー検索] や [絞り込み再生] の [動画のみ] で検索することをお勧めします。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

再生メニューの設定方法は P46

リサイズ(縮小)　画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

1 再生メニューから[リサイズ(縮小)]を選ぶ

2 ▲/▼で[1 枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像、サイズを選ぶ

[1 枚設定]選択時

1 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す
2 ◀/▶でサイズを選び、[MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

[複数設定]選択時

1 ▲/▼でサイズを選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISP.]を押す
- この手順を繰り返し、[MENU/SET] を押して決定します。
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

お知らせ
- [複数設定]で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズ(縮小)できない場合があります。
- 以下の画像はリサイズ(縮小)できません。
  ・ 動画
  ・ シーンモードの[パノラマ]で撮影された写真
  ・ 3D 写真
  ・ クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
  ・ 日付 / 文字焼き込みされた画像

再生メニューの設定方法は P46

トリミング（切抜き） 画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから［トリミング（切抜き）］を選ぶ

2 ◄/► で画像を選び、[MENU/SET] を押す

3 ズームレバーと▲/▼/◄/► で切り抜く部分を選ぶ

ズームレバー（T）： 拡大
ズームレバー（W）： 縮小

▲/▼/◄/►： 移動

4 [MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。［ はい ］を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- トリミング（切抜き）を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミング（切抜き）できない場合があります。
- トリミング（切抜き）を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。
- 以下の画像はトリミング（切抜き）できません。
  - ・動画
  - ・シーンモードの［パノラマ］で撮影された写真
  - ・3D 写真
  - ・日付/文字焼き込みされた画像
  - ・クオリティを［RAW］、［RAW］または［ RAW ］にして撮影された画像

再生メニューの設定方法は P46

傾き補正

画像の微妙な傾きを修正することができます。

1 **再生メニューから[傾き補正]を選ぶ**

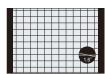
2 **◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す**

3 **◀/▶で傾きを調整し、[MENU/SET]を押す**

▶： 時計回りに回転します。

◀： 反時計回りに回転します。

- 最大2°まで傾きを補正できます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 傾き補正を行うと、画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像は傾き補正できない場合があります。
- 傾き補正を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。
- 以下の画像は傾き補正できません。
  - ・動画
  - ・シーンモードの[パノラマ]で撮影された写真
  - ・3D写真
  - ・日付/文字焼き込みされた画像
  - ・クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像

再生メニューの設定方法は P46

お気に入り

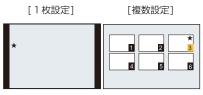
画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
· お気に入りに設定した画像のみ再生する。（[絞り込み再生]の[お気に入り]）
· お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
· お気に入りに設定した画像以外を消去する。（[お気に入り以外全消去]）

1 **再生メニューから[お気に入り]を選ぶ**

2 **▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す**

3 **画像を選び、[MENU/SET]で設定する**

● もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。
● 設定後はメニューを終了してください。

[1枚設定]　[複数設定]

◀/▶で選びます。　▲/▼/◀/▶で選びます。

■ [お気に入り]設定を全解除する

1 **再生メニューから[お気に入り]を選ぶ**
2 **▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す**
● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

● 999枚まで設定できます。
● 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。
● [クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。

再生メニューの設定方法は ☞ P46

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P153)してから[プリント設定]の設定をしてください。

- 連写グループに[プリント設定]を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。

1 **再生メニューから[プリント設定]を選ぶ**

2 **▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す**

3 **画像を選び、[MENU/SET]を押す**

[1枚設定]

◄/► で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◄/►で選びます。

4 **▲/▼でプリント枚数を設定し、[MENU/SET]で決定する**

- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。
- [複数設定]選択時は、連写グループに対して[プリント設定]を行ったとき、合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[+999]と表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

■ [プリント設定]を全解除する

1 **再生メニューから[プリント設定]を選ぶ**

2 **▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

再生メニューの設定方法は ☞ P46

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISP.] を押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。
詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 日付/文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

お知らせ

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- 以下の場合、プリント設定できません。
  - ・動画
  - ・クオリティを[RAW]にして撮影された画像

再生メニューの設定方法は P46

プロテクト

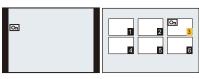
画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[1枚設定]　[複数設定]

◀/▶で選びます。　▲/▼/◀/▶で選びます。

■ [プロテクト]設定を全解除する

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

再生メニューの設定方法は ☞ P46

認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

1 再生メニューから［認証情報編集］を選ぶ

2 ▲/▼で［入換え］または［解除］を選び、[MENU/SET]を押す

3 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET] を押す

4 ◀/▶で人物を選び、[MENU/SET] を押す

5 （［入換え］選択時）▲/▼/◀/▶で入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、［カテゴリー選択］（絞り込み再生）の個人認証に分類されません。
- プロテクトされた画像は認証情報編集できません。

再生メニューの設定方法は ☞ P46

画像コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 再生メニューから[画像コピー]を選ぶ

2 ▲/▼で画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET]を押す

[IN→SD]：　内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。

[SD→IN]：　カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。

3 （[SD→IN]選択時）◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- コピー中は電源スイッチを [OFF] にしないでください。

お知らせ

- [IN→SD]時、コピーする画像と同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [SD→IN]時は、同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- [プリント設定]、[プロテクト]設定または [お気に入り] 設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- [AVCHD] で撮影された動画はコピーできません。

テレビで見る

本機で撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

準備： 本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

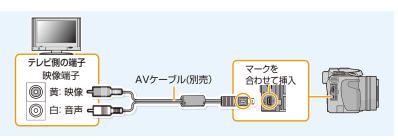
- **お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。**

1 本機とテレビをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）

HDMIミニケーブル（別売）で接続する場合

- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  - ・品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）
- 音声はステレオで再生されます。
- 画面に画像は表示されません。
- ビエラリンク（HDMI）を使って再生する場合、詳しくは 156 ページをお読みください。

AVケーブル(別売)で接続する場合

● 当社製 AVケーブル(別売)をお使いください。
　・品番: DMW-AVC1
● [TV画面タイプ](P59)を確認してください。
● 音声はモノラルで再生されます。

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶]を押す

● [ビエラリンク](P59)を[ON]に設定して、HDMIミニケーブルでビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。(P156)

お知らせ

● [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
● 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
● AVケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、HDMIミニケーブルからの出力が優先されます。
● USB接続ケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。
● 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
● 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
● 本機のスピーカーからは音声は出ません。
● テレビの取扱説明書もお読みください。

SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます。
● テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
● 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
● パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
● 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

- 本機とHDMIミニケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。（すべての操作ができるものではありません）
- ビエラリンク（HDMI）はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク（HDMI） Ver.5に対応しています。ビエラリンク（HDMI） Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2011年11月現在）

準備： [ビエラリンク](P59)を[ON]に設定する。

1 HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）をつなぐ(P154)

2 本機の電源を入れ、[▶]を押す

3 テレビのリモコンで操作する

- 画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

お知らせ

- 動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをお勧めします。
- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶]を押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、187ページをご確認ください。

お知らせ

- お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、テレビの取扱説明書をお読みください。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  - 品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）

3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。
3D 対応の SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した 3D 写真を再生することもできます。

本機で撮影した3D写真を再生できる機器についての最新情報は、下記サポートサイトをご確認ください。 http://panasonic.jp/support/dsc/

準備： [3Dテレビ出力](P59)を[3D]に設定する。

HDMIミニケーブルで本機と3D対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する(P154)

- [ビエラリンク](P59)を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、156ページをお読みください。
- 3D記録された写真には、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。

■ 3D記録した写真のみをスライドショーで 3D 再生する

再生モードの[スライドショー]で [3D] を選んでください。(P134)

■ 3D記録した写真のみを選んで 3D 再生する

再生モードの[絞り込み再生]で[3D]を選んでください。(P136)

■ 3D記録した写真の再生方法を切り換える

1 3D 記録した写真を選ぶ

2 再生モードから [2D/3D 切換] を選び、[MENU/SET] を押す(P46)

- 2D（従来の画像）で再生されている場合は、3D に再生方法を切り換えます。
- 3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。

お知らせ

- 3Dの視聴に適さない画像（視差が大きすぎるなど）の場合
  - ・[スライドショー]： 2Dで再生されます
  - ・[絞り込み再生]： 3Dで再生するかの確認画面が表示されます
- 3Dに対応していないテレビで3D写真を再生すると、2つの写真が左右に並んで表示される場合があります。
- 3D で撮影した写真を本機の画面で再生した場合、2D（従来の画像）で再生されます。
- 3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
- 3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- 3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
- テレビが3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。
  （詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください）
- 3D再生時はセットアップメニュー、再生メニュー、再生ズーム、消去は使えません。
- 3D写真は、パソコンや当社製機器に保存することができます。(P159、164)

写真や動画をパソコンに残す

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- **SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。**
  http://panasonic.jp/support/sd_w/

■ 使用できるパソコン

マスストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合：　Windows 7/Windows Vista/Windows XP
- Mac の場合：　OS X v10.1～v10.7

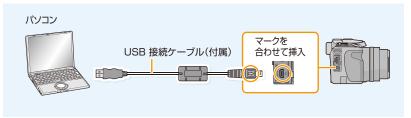
AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります。

- Windowsの場合、AVCHD動画は必ずCD-ROM(付属)の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
  (「PHOTOfunSTUDIO」の動作環境について、詳しくは「取扱説明書 基本操作編」をお読みください)
- Macの場合、AVCHD動画は「iMovie’ 11」を使って取り込むことができます。
  ただし、画質設定が [PSH] の動画(AVCHD Progressive)は、取り込みできません。
  (iMovie’ 11の詳細は、Apple にお問い合わせください)

準備：**お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする。**
- インストールについて、詳しくは「取扱説明書 基本操作編」をお読みください。

CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと、本機で記録したすべての形式の写真や動画をパソコンに保存することができます。

1 USB接続ケーブル（付属）で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）

2 ▲/▼ で [PC] を選び、[MENU/SET] を押す

- セットアップメニューで[USBモード](P58)を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPC と接続します。
- [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示されることがあります。[キャンセル](中止)を選んで画面を閉じ、安全にUSB接続ケーブルを取り外し(P162)、[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

お知らせ

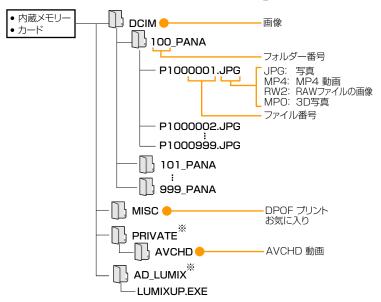
- 「PHOTOfunSTUDIO」はMacでは使えません。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売）を使用してください。
バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」(P162)をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊されるおそれがあります。
- ACアダプター（別売）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。

本機の内蔵メモリー/カードの中（フォルダー構造）は以下のようになります。

Windowsの場合：「コンピューター」にドライブ（「リムーバブルディスク」）を表示

Macの場合：　デスクトップ上にドライブ（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」）を表示

※ 内蔵メモリーには作成されません。

- AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります。CD-ROM（付属）の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込むことをお勧めします。詳しくは、159 ページをお読みください。
- 以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
  - ・セットアップメニューの [番号リセット](P58)実行後
  - ・同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合（他社のカメラで撮影した場合など）
  - ・フォルダー内にファイル番号 999 の画像がある場合

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

パソコンの画面でタスクトレイの「 」アイコンを選び、「DMC-FZ200の取り出し」をクリックする

- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。
- アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

■ PTPモードで接続する

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。

- 本機からパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードで、動画は再生できません。

画像を共有サイトへアップロードする

アップロードツール（LUMIX WEB アップローダー）を使って、写真や動画を画像共有サイト（LUMIX CLUB（PicMate）/Facebook/YouTube）へアップロードします。
また、「LUMIX CLUB(PicMate)」を経由して、他の画像共有サイトに画像を送信することもできます。パソコンに画像を取り込んだり、専用のソフトウェアをインストールする必要がないので、ネットワーク接続されたパソコンさえあれば、外出先などでも簡単に画像をアップロードすることができます。

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7 のパソコンにのみ対応しています。
- 詳しくは、LUMIX WEB アップローダーの取扱説明書（PDF）をお読みください。

準備：[WEBアップロード設定] (P139)で、アップロードする画像を設定しておく。
パソコンをインターネットに接続する。
利用する画像共有サイトにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。
LUMIX CLUB(PicMate)経由で他の画像共有サイトに画像を送信する場合は、利用する画像共有サイトを LUMIX CLUB(PicMate) で登録しておく。

1 「LUMIXUP.EXE」をダブルクリックして起動する **(P161)**

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」がインストールされている場合、アップロードツール（LUMIX WEB アップローダー）が自動的に起動することがあります。

2 アップロード先を選ぶ

- パソコンに表示される画面の指示に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- LUMIX CLUB（PicMate）について
  - ・デジタルカメラで撮影した写真を共有･公開して楽しむ、SNS 型写真共有サイトです。
    詳しくは、LUMIX CLUB（PicMate）のサイトをご覧ください。
    http://lumixclub.panasonic.net/jpn/
- YouTube および Facebook のサービスおよび仕様変更に対して、将来にわたって動作保証をするものではありません。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になることがあります。（本サービスは、2012年6月1日現在のものです）
- 著作権により保護されている画像は、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。
- **画像には、タイトル、撮影日時、GPS機能を有したカメラで撮影された位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。画像共有サイトに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。**

写真や動画をレコーダーに残す

当社製レコーダーに本機で記録したカードを入れるとブルーレイディスクやDVDなどにダビングすることができます。

各ファイル形式に対応した当社製機器(ブルーレイディスクレコーダーなど)については、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

● ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

■ 対応機器以外にダビングする

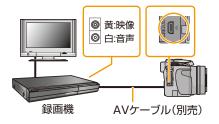
本機をAVケーブル(別売)で対応機器以外のレコーダーやビデオなどの録画機につなぎ、本機で再生した映像をダビングします。対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

1 **本機と録画機をAVケーブル(別売)で接続する**

2 **本機で再生を始める**

3 **録画機で録画を始める**

● 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

お知らせ

● 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P59)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
● ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

- 連写画像はグループとして表示されません。一覧で表示されます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。
  詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備：本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

1 USB接続ケーブル（付属）で本機とプリンターをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  （向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。

2 ▲/▼で[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
- [ ]（ケーブル切断禁止アイコン）表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
  （プリンターによって表示されない場合があります）
- AC アダプター（別売）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 動画はプリントできません。

画像を選んで１枚ずつプリントする

1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

2 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については167ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

1 ▲を押す

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[DISP.] を押してください。 （もう一度 [DISP.] を押すと設定が解除されます） ● 選択が終了したら [MENU/SET] を押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定(DPOF)	[プリント設定]で設定(P149)された画像のみをプリントします。
お気に入り	[お気に入り]設定(P148)された画像のみをプリントします。

3 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。
- プリント開始前に設定できる項目については167ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

プリントの各種設定

「画像を選んで１枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[ ]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定(DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

日付プリント

項目	設定内容
ON	日付プリントされます。
OFF	日付プリントされません。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 日付 / 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。

プリント枚数

プリントする枚数(最大999枚まで)を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト（本機で設定可能なレイアウト）

項目	設定内容
[プリンター]	プリンターの設定が優先されます。
[1面縁なし]	1面縁なし印刷
[1面縁あり]	1面縁あり印刷

項目	設定内容
[2面]	2面印刷
[4面]	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4面]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4面]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAWファイルをプリントする場合、本機で同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像がない場合はプリントされません。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[日付焼き込み]/[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[DISP.]を押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(個人認証またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※ 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BLC12
DCカプラー※1	DMW-DCC8
ACアダプター※1	DMW-AC8
ソフトケース	DMW-CZS100
ソフトバッグ	DMW-CZ18
バッテリーチャージャー※2	DMW-BTC6
フラッシュライト	DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500
シャッターリモコン	DMW-RSL1
ステレオマイクロホン	DMW-MS1
MCプロテクター	DMW-LMC52
NDフィルター	DMW-LND52
PLフィルター(サーキュラータイプ)	DMW-LPL52
AV ケーブル	DMW-AVC1
HDMIミニケーブル	RP-CDHM15、RP-CDHM30
USB接続ケーブル	DMW-USBC1
レンズアダプター	DMW-LA7
テレコンバージョンレンズ※3	DMW-LT55
クローズアップレンズ※3	DMW-LC55

※1 DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

※2 海外用変換プラグ(C タイプ)付き(P175)

※3 本機に取り付けるにはレンズアダプター(別売:DMW-LA7)が必要です。

記載の品番は2012年7月現在のものです。変更されることがあります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/
携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

コンバージョンレンズ(別売)

コンバージョンレンズを使用すると、より望遠で撮影したり、より小さな被写体をアップで撮影したりすることができます。

準備：　レンズキャップ、レンズフードを取り外す。

1 **レンズアダプター(別売：DMW-LA7)を取り付ける**

● ゆっくり丁寧に回してください。

2 **テレコンバージョンレンズ(別売：DMW-LT55)を取り付ける**

● クローズアップレンズ(別売：DMW-LC55)も同様に取り付けることができます。

		テレコンバージョンレンズ	クローズアップレンズ
ズーム倍率(最大画素数時)		14x ～ 24x ※	4x ～ 24x
撮影可能範囲	W 側	5.5 m ～∞	27 cm ～ 50 cm
	T 側		33 cm ～ 50 cm
開放 F 値	W 側	F4.0	
	T 側		

※　ズーム使用時の実際の倍率は、表示の 1.7 倍になります。

3 **撮影メニューから[コンバージョン]を選ぶ****(P46)**

● [コンバージョン]については、124 ページをお読みください。

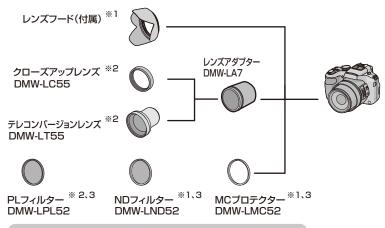
4 **▲/▼で[ ]を選び、[MENU/SET]を押して設定する**

● [ ] を選ぶときも同様に設定してください。
● コンバージョンレンズを外したときは、必ず [OFF] に設定してください。

お知らせ

● **コンバージョンレンズを使用するときは、レンズアダプター(別売：DMW-LA7)が必要になります。**
● コンバージョンレンズとMCプロテクター(別売：DMW-LMC52)やNDフィルター(別売：DMW-LND52)などを併用することはできません。必ず取り外してからコンバージョンレンズを取り付けてください。
● **DMW-LC55、DMW-LT55 以外は取り付けないでください。**
● レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)が付いた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
● テレコンバージョンレンズ使用時は
・ 三脚の使用をお勧めします。

・手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
・手ブレの影響により、ピントが合っていないのにフォーカス表示が点灯することがあります。
・ピントが合うまでの時間が通常よりも長くなることがあります。

■ レンズ装着組み合わせ図

※1 レンズキャップを取り付けることもできます。
※2 付属のレンズキャップは装着できません。
※3 レンズフードを取り付けた状態で、フィルターを取り付けることはできません。

フィルター(別売)

MCプロテクター(別売:DMW-LMC52)は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。
NDフィルター(別売:DMW-LND52)は、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8(3絞り分)に減少させることができます。
PLフィルター(別売:DMW-LPL52)は、金属や球面以外(平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など)からの反射光を抑え、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

お知らせ

● 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
● フィルターを強く締めすぎると、外れなくなるおそれがありますので、強く締めないようにしてください。
● フィルターが落下すると、壊れるおそれがあります。取り付けるときは、落とさないようにお気をつけください。
● フィルターに指紋やほこりなどの汚れがついていると、フィルター面にピントが合ってしまい被写体にピントが合わないことがありますので、お気をつけください。
● 詳しくは、各種フィルターの取扱説明書をお読みください。

外部フラッシュ（別売）

外部フラッシュ（別売:DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500）を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

準備： 本機の電源スイッチを[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じる。

■ 専用フラッシュライト（別売：DMW-FL220）を使う場合

1 **ホットシューに専用フラッシュライトを取り付け、本機と専用フラッシュライトの電源を入れる**
- 専用フラッシュライトのロッキングリングは、確実に締め込んでください。

2 **撮影メニューから［フラッシュ］を選ぶ**(P46)

3 **▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す**
- 外部フラッシュ接続中は[]も表示されます。

4 **[MENU/SET]を押して、メニューを終了する**

■ 本機との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値と ISO 感度に合わせせることのできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。（シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。）

お知らせ

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 専用フラッシュライト以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源スイッチが[OFF]でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュは使えません。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をお勧めします。
- 取り外しの際は、本機の電源スイッチを[OFF]にしてから行ってください。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを[]に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。(P78)
- 広角時に近くで撮影すると、画面の下部がケラレる場合があります。
- 外部フラッシュはステレオマイクロホン（別売：DMW-MS1）との併用はできません。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

シャッターリモコン（別売）

シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）を使用すると、三脚使用時に手ブレを防いだり、連写時にシャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。

お知らせ

- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
  - ・スリープモードを解除するとき
  - ・動画を撮影開始 / 終了するとき
- 動画撮影に使用する場合は、クリエイティブ動画モードで撮影してください。
- シャッターリモコンはステレオマイクロホン（別売：DMW-MS1）との併用はできません。
- 詳しくは、シャッターリモコンの説明書をお読みください。

外部マイク（別売）

ステレオマイクロホン（別売：DMW-MS1）を使用すると、ステレオ集音とモノラル集音を切り換えて集音することができます。
また、風音低減スイッチを[ON]に切り換えると、風雑音を効果的に低減することができます。

バッテリーチェックランプについて

- 電源/マイク設定スイッチを[OFF]から[MONO]または[STEREO]に切り換えたとき、電池が十分あると、バッテリーチェックランプが一瞬点灯します。バッテリーチェックランプが点灯しなくなったら、新しい電池と交換してください。

お知らせ

- 外部マイク接続中は、画面に[ ]が表示されます。
- ステレオマイクロホン装着時は、脱落のおそれがありますので、ステレオマイクロホンのみを持たないようにしてください。
- 風音低減はステレオマイクロホン側のみで設定してください。本体側の[風音低減]は使えません。
- ステレオマイクロホン装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- ステレオマイクロホンは外部フラッシュ（別売）との併用はできません。
- ステレオマイクロホンはシャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）との併用はできません。
- 専用ステレオマイクロホン以外のステレオマイクロホンを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 詳しくは、ステレオマイクロホンの説明書をお読みください。

ACアダプター(別売)/DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売 :DMW-AC8)およびDCカプラー(別売 :DMW-DCC8)は、必ずセットでお買い求めください。AC アダプター(別売)は単独では使用できません。

準備:電源スイッチを[OFF]にして、レンズ鏡筒が収納されていることを確認する。

1 **カード/バッテリー扉とDCカプラー扉を開く**

2 **DCカプラーを本機へ入れる**

- DCカプラーの中央部を押して入れてください。
- DC カプラーが ① のレバーでロックされるまで押して入れてください。

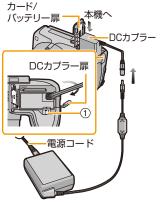
3 **右図のようにケーブルを外に出し、カード/バッテリー扉を閉じる**

- カード/バッテリー扉を閉じるときに、ケーブルを挟まないようにお気をつけください。

4 **ACアダプターを電源コンセントに差し込む**

5 **ACアダプターをDCカプラーの[DC IN]端子に接続する**

お知らせ

- 使わないときは、ACアダプターおよびDCカプラーを取り外し、DCカプラー扉を閉じておいてください。
- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付け方

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

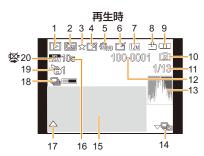
液晶モニター/ファインダーの表示

液晶モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

撮影時

1 カスタムセット(P108)
2 フォトスタイル(P113)
カラーモード(P36)
クリエイティブコントロール調整表示(P99):
3 ズームマイク(P129)
4 フラッシュモード(P66)
フラッシュ光量調整(P123)
5 撮影モード(動画撮影時)(P127)
画質設定(P127)
6 記録画素数(P115)
7 手ブレ補正 OFF(P121)
手ブレ警告(P28):
8 クオリティ(P116)
9 AFマクロ撮影(P82)
10 AF スタイル(P118)
MF(P83):MF
AFロック(P85):AFL
11 オートフォーカスモード(P79)
12 連写(P71)
オートブラケット(P125):
13 バッテリー残量(P21)
14 AF補助光(P122)
フォーカス(P32)
15 ブレピタモード(P36)
16 ヒストグラム表示(P54)
17 スポット測光ターゲット(P119)
18 AF エリア(P32)
19 セルフタイマーモード(P73)
20 記録可能枚数(P26)
記録可能時間(P26):残XXmXXs ※
21 ホワイトバランス(P76)
ホワイトバランス微調整(P78)
ホワイトバランスブラケット(P78):BKT
22 ISO感度(P74)
ISO感度上限設定(P116)
23 露出補正値(P70)
マニュアル露出アシスト(P89)
ズーム表示(P63):
EZ W T 1X
24 シャッタースピード(P30)
下限シャッター速度(P120):MIN 1"
25 絞り値(P30)
26 プログラムシフト(P31)
27 測光モード(P119)
28 AE ロック(P85)
29 現在日時 / ワールドタイム(P50):
トラベル経過日数(P51)
旅行先(P51)
名前(P96)
月齢 / 年齢(P96)
露出メーター(P55)
30 日付焼き込み(P126)
31 記録経過時間(P38):XXhXXmXXs ※
32 内蔵メモリー(P24)
カード(P24):(記録時のみ表示)
33 逆光補正(P34)
34 撮影モード(P29)

※ h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。

再生時

1　再生モード(P134)
2　プロテクト(P151)
3　お気に入り表示(P148)
4　日付/文字焼き込み済み表示(P126、142)
5　フォトスタイル(P113)
　　カラーモード(P36)
6　かんたんレタッチ済み(P130)
　　クリエイティブレタッチ済み(P131)
7　記録画素数(P115)
8　クオリティ(P116)
9　バッテリー残量(P21)
10　内蔵メモリー(P24)
　　再生経過時間(P43)：XXhXXmXXs※
11　画像番号
　　トータル枚数
12　フォルダー・ファイル番号(P161)
13　ヒストグラム表示(P54)
14　連写グループ表示(P132)
15　旅行先(P51)
　　撮影情報(P62)
　　名前(P96)
　　月齢/年齢(P96)
　　タイトル(P141)
　　トラベル経過日数(P51)
　　撮影日時
　　ワールドタイム(P50)：
16　動画記録時間(P43)：XXhXXmXXs※
　　連写枚数(P133)
17　かんたんレタッチ(P130)
　　クリエイティブレタッチ(P131)
　　動画再生(P43)
　　パノラマ再生(P92)
　　連写グループ連続再生(P132)
18　情報取得中アイコン(P180)
19　プリント枚数(P149)
20　画質設定(P127)
　　ハイスピード動画再生(P106)：
　　連写グループアイコン(P132)：
　　ケーブル切断禁止アイコン(P165)

※　hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニター/ファインダーに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	原因・対策
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P151)消去をしてください。
消去できない画像があります/ この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P60)してください。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
内蔵メモリー残量がありません/ メモリーカード残量がありません/ 内蔵メモリー残量が不足しています/ メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/ 画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ) ● DCF規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー/ フォーマットしますか?	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。 本機でフォーマット(P60)し直してください。 データは消去されます。
メモリーカードエラー 本機では使えない状態です。 フォーマットしますか?	本機では使用できないフォーマットです。 ● 別のカードを入れてお試しください。 ● パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P60)し直してください。 データは消去されます。
電源を入れ直してください/ システムエラー	● レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー/ カードのパラメータが異常です/ このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。(P24) ● SDメモリーカード(8 MB～2 GB) ● SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB) ● SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)

メッセージ	原因・対策
カードを入れ直してください/別のカードでお試しください	● カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ● miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ● 別のカードを入れてお試しください。
リードエラー/ライトエラー カードを確認してください	● データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。 ● カードが破壊されている可能性があります。 ● 別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	● 動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 ● 「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P60)することをお勧めします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません	● パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P60)してください。 ● 別のカードを入れてお試しください。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。 パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P60)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P58)
16:9TV用で出力します/4:3TV用で出力します	● [TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P59) ● USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P160、165)

メッセージ	原因・対策
情報取得中のため、編集操作はできません	パソコンや他機で画像の消去やファイル名の変更をしたカードを本機に入れると、自動的に新しい情報を取得して連写グループを再構成します。画像ファイルが多いと再生画面に情報取得中アイコン[ ] が長時間表示されることがあり、その間消去や再生メニューの使用はできません。 ● 情報取得中に電源スイッチを[OFF]にした場合、それまでに情報を取得できた画像のみが連写グループとして保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。
撮影できませんでした。	● 3D撮影時、撮影場所が暗すぎる、明るすぎる、または濃淡の少ない被写体の場合、撮影できない場合があります。
このバッテリーは使えません	● パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ● バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。
外部マイクは電源オンでご使用ください	● ステレオマイクロホン（別売：DMW-MS1）装着時は、電池の状態および電源が入っていることをご確認のうえご使用ください。(P173)

Q ＆ A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P181～189)をお試しください。

それでも解決できない場合は、**セットアップメニューの[設定リセット]**(P58)**を行うと症状が改善する場合があります。**
これらの処置をしても直らないときは、取扱説明書 基本操作編の「保証とアフターサービス」をお読みください。

■ バッテリー、電源について

Q(質問)	A(回答)
電源スイッチを[ON]にしても動作しない。またはすぐに切れる。	● バッテリーが消耗しています。充電してください。 ● 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 → [エコモード](P57)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
電源が勝手に切れる。	● ビエラリンク(HDMI)対応のテレビとHDMIミニケーブル(別売)で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 → ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク]を[OFF]に設定してください。(P59)
カード/バッテリー扉が閉じない	● バッテリーを確実に奥まで挿入してください。

■ 撮影について

Q(質問)	A(回答)
画像が撮れない。	● モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？ ● 内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ → 不要な画像を消去して容量を増やしてください。(P45) ● 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。
撮影した画像が白っぽい。	● レンズに指紋などの汚れがつくと画像が白っぽくなることがあります。 → 汚れたときは、電源スイッチを[OFF]にして、レンズ鏡筒を収納した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→ 露出が正しく補正されているか確認してください。(P70) ● [下限シャッター速度]を速く設定すると暗く写りやすくなります。 → [下限シャッター速度](P120)を遅く設定してください。
1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。	→ ホワイトバランスブラケット(P78)の設定を解除してください。 → オートブラケット(P125)、または連写(P71)を[OFF]に設定してください。 ● セルフタイマー(P73)が[10秒/3枚]に設定されていませんか？

■ 撮影について（続き）

Q（質問）	A（回答）
ピントが合わない。	● 撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 → 被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ● ピントが合う範囲から外れています。(P32) ● 手ブレや被写体ブレしています。(P28)
撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。	→ 暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P28) → 遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー(P73)を使って撮影してください。
オートブラケット撮影ができない。	● 内蔵メモリー/カードのメモリー残量はありますか？
撮影した画像が粗い。ノイズが出る。	● ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？（お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） → ISO感度を低くしてください。(P74) → [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P113) → 明るい場所で撮影してください。 ● シーンモードの[高感度]に設定していませんか？ 高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。	● これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	● 蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。 ● 極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。
撮影時に、液晶モニターに赤っぽい横すじが出る。	● これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 写真または動画撮影に記録されます。 ● 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをお勧めします。

■ 撮影について（続き）

Q（質問）	A（回答）
動画撮影が途中で止まる。	● 動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 ● 使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合やパソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット(P60)することをお勧めします。
被写体がゆがんで見える。	● 本機の撮像素子にMOSを使用しているため、被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。
ズームが正常に働かない。	● [コンバージョン](P124)を[ ]または[ ]に設定していませんか？
サイドレバーでズーム操作ができない。	● [サイドレバー設定](P52)が[FOCUS]に設定されていませんか？ →[サイドレバー設定]を[ZOOM]に設定してください。
被写体をロックできない。(動体追尾できない)	● 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AFエリアに合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AFエリアに合わせて設定してください。(P80)
[パノラマ]での撮影が途中で止まる。	● カメラを動かす速度が遅いと、カメラの動きを止めたと判断して撮影が終了します。 ● カメラを動かすときに撮影方向に対しての揺れが大きいと、撮影が終了します。 →[パノラマ]での撮影時は、撮影方向へ並行に小さな円を描くようにして、1周を約8秒の速さ(目安)でカメラを動かしてください。

■ レンズについて

Q（質問）	A（回答）
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● ズームの倍率によってはレンズの特性上僅かにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。

■ 液晶モニター/ファインダーについて

Q(質問)	A(回答)
液晶モニター/ファインダーの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	● この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ● ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	● 電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯やLEDなどの照明器具の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニター/ファインダーが明るすぎたり、暗すぎる。	● [液晶モード]の設定を確認してください。(P53) ● [液晶調整]/[EVF 調整]を行ってください。(P53)
液晶モニターに画像が出ない。	● ファインダー表示になっていませんか？ → [EVF/LCD] を押して、液晶モニター表示に切り換えてください。
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	● これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	● 暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	● フラッシュを閉じていませんか？ → フラッシュを開いてください。(P66) ● 以下の場合、フラッシュは使用できません。 ・オートブラケット撮影時(P125) ・連写撮影時([ ] を除く) (P71) ・シーンモード(P90)の[風景]、[パノラマ]、[夜景]、[手持ち夜景]、[逆光補正HDR]、[夕焼け]、[ガラス越し]、[スライド 3D 撮影]
フラッシュが複数回発光する。	● 赤目軽減(P67)にしている場合は、2回発光します。 ● 連写設定を [ ] に設定していませんか？

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	● [回転表示] (P59) を [ ] または [ ] に設定しています。
再生できない。 撮影した画像がない。	● 内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ → カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ● パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。 → パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。 ● [絞り込み再生] になっていませんか？ → [通常再生] に設定してください。(P134)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	● 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ● 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ → このような画像を消去するには、フォーマット (P60) してください。（他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください）
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	● 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P27) ● パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	● 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込むことがありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。

再生について（続き）

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	● デジタル赤目補正（[⚡A◎]、[⚡S◎]）が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正されることがあります。 → フラッシュモードを[⚡A]、[⚡]、[⊛]または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(P123)
画面に「サムネイル表示」と表示される。	● 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
動画に「カチッ」という音が録音される。	● 動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。 ● 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	● [AVCHD]および[MP4]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	● 正しく接続されていますか？ → テレビの入力切換を外部入力にしてください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	● テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	● カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ → AVケーブル（別売）またはHDMIミニケーブル（別売）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P154)
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→ 本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P59)

■ テレビ、パソコン、プリンターについて（続き）

Q（質問）	A（回答）
ビエラリンク（HDMI）が働かない。	● HDMIミニケーブル（別売）で正しく接続されていますか？(P154) → HDMIミニケーブル（別売）が奥まで確実に入っていることを確認してください。 → 本機の[▶]を押してください。 ● 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？(P59) → テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください） → 接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。 → 本機の電源を入れ直してください。 → テレビ（ビエラ）の「ビエラリンク制御（HDMI機器制御）」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。（詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください）
パソコンとの通信ができない。	● 正しく接続されていますか？ ● パソコンが本機を正常に認識していますか？ → 本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P58、160) → 本機の電源を入れ直してください。
パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	→ USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。 → 1 台のパソコンに 2 つ以上の USB 端子がある場合、別の USB 端子に接続してみてください。
パソコンにカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している）	→ お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 **http://panasonic.jp/support/sd_w/** → 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 → 液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってから USB接続ケーブルを抜いてください。
LUMIX CLUB(PicMate)、YouTube、Facebookへのアップロードがうまくいかない。	→ ログイン情報（ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード）が間違っていないか確認してください。 → パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 → ウィルス対策ソフトやファイアウォールなどの常駐ソフトが、LUMIX CLUB（PicMate）/YouTube/Facebookへのアクセスをブロックしていないか確認してください。 → LUMIX CLUB（PicMate）（http://lumixclub.panasonic.net/jpn/）やYouTube、またはFacebook のサイトもご確認ください。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて（続き）

Q（質問）	A（回答）
プリンターに接続して、プリントができない。	● PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 → 本機の[USBモード]を[PictBridge（PTP）]に設定してください。（P58、165）
プリントすると、画像の端が切れる。	→ トリミング（切抜き）や「縁なし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング（切抜き）または「縁なし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） → お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。
パノラマ写真がうまくプリントできない。	● パノラマ写真は、横縦比が通常の写真と異なるため、正しく印刷できない場合があります。 → パノラマ写真に対応したプリンターをお使いください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください） → CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、プリントする用紙に合わせて写真のサイズを調整することをお勧めします。

■ その他

Q（質問）	A（回答）
本機を振ると「カタカタ」と音がする。	以下の場合は、故障ではありませんので、安心してご使用ください。 ● 電源を切った状態または再生モード時に本機を振ると、「カタカタ」音がする。（レンズが移動する音） ● 電源の[ON]/[OFF]、または撮影と再生の切り換え時に、「カタカタ」などの音がする。（絞り動作の音） ● レンズの繰り出し/収納時やズーム時に、手に振動が伝わる。（鏡筒駆動用モーターの動作） ● 撮影中にレンズから「カチッカチッ」などの音がする。（明るさが変化した場合の絞り動作の音）このとき、液晶モニターの画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプが赤く点灯します。
画像の一部が白と黒に点滅する。	● 白飛びが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。（P55） ● [ハイライト表示]が[ON]になっていませんか？
AF補助光が点灯しない。	● 撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？（P122） ● 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。

■ その他（続き）

Q（質問）	A（回答）
本機が熱くなる。	● ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	● ズーム動作や本機を動かしたときなどに明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニターの画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P27)
ズームの動きが一瞬止まる。	● EX光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	● 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。
ファイル番号がさかのぼって記録される。	● 電源スイッチを[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。したがって、再度電源スイッチを[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録されることがあります。
放置していたら、突然デモが表示される。	● これは本機の特長を紹介する自動デモです。ボタンを押すと、元の画面に戻ることができます。

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター(別売:DMW-AC8)、DCカプラー(別売:DMW-DCC8)を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

液晶モニター/ファインダーについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニター/ファインダーの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 持ち運ぶときは、レンズを収納してください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P175)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

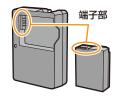
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

チャージャーについて

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波などの影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

カードについて

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

赤ちゃんモード/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P58)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P153)をし、そのあと内蔵メモリーをフォーマット(P60)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、上記の「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
（推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです）
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。
これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。
記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚／一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚／一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚／一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚／一脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[MENU/SET]を押して[セットアップ] → [バージョン表示]を表示し、[MENU/SET]を押してご覧ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD Progressive” のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Facebook® は、Facebook, Inc. の登録商標です。
- YouTube は、Google Inc. の登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
  DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

さくいん

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

英数字